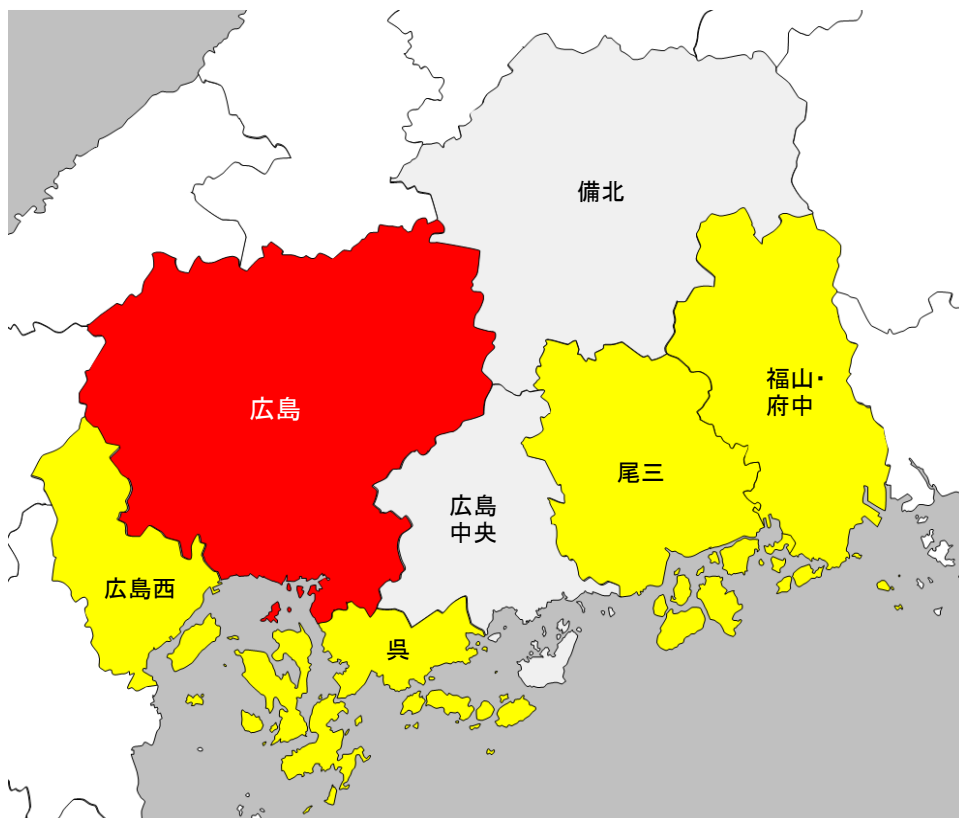


34. 広島県

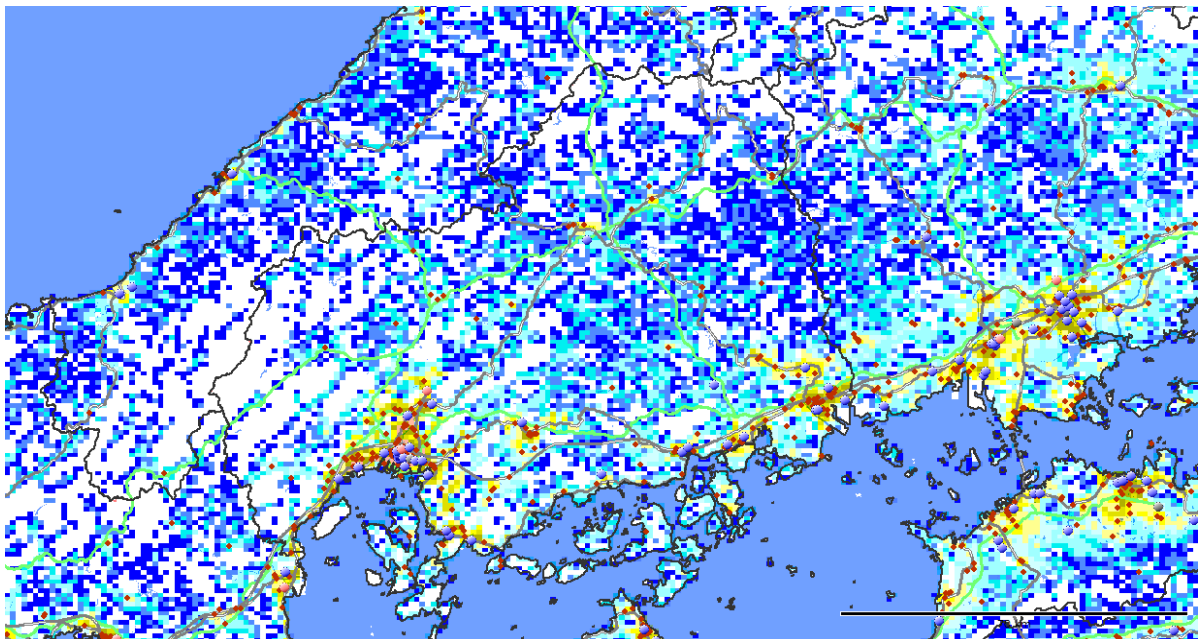


目次

広島県	34	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	34	-	8
1. 広島医療圏	34	-	20
2. 広島西医療圏	34	-	25
3. 呉医療圏	34	-	30
4. 広島中央医療圏	34	-	35
5. 尾三医療圏	34	-	40
6. 福山・府中医療圏	34	-	45
7. 備北医療圏	34	-	50

34. 広島県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(広島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島県は、総人口約2844千人(2015年)、面積8479km²、人口密度は335人/km²である。

*人口の将来予測： 広島県の総人口は2025年に2689千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に2391千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の372千人が、2025年にかけて516千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には508千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島県の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値63)、介護給付費は270千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が51(病院医師数49、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、42893人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が24712床(偏差値54)、高齢者住宅等が18181床(偏差値54)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、36999人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム48、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、5603人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島県の総人口は、2005年2876642人が、2015年に2843990人と1%減少し、2025年の人口が2688800人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

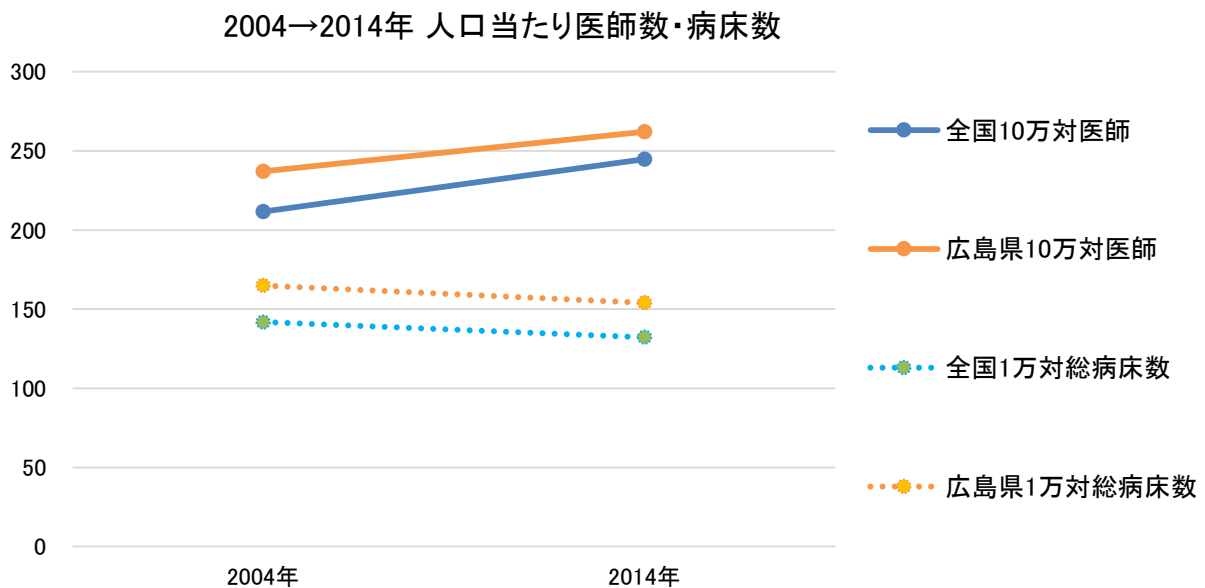
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が262(人口10万人当たり9.1病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に244(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で18病院が減少した。

2004年の診療所数が2615(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2014年に2591(人口10万人当たり91診療所(全国平均79)偏差値56)と、24診療所が減少した。

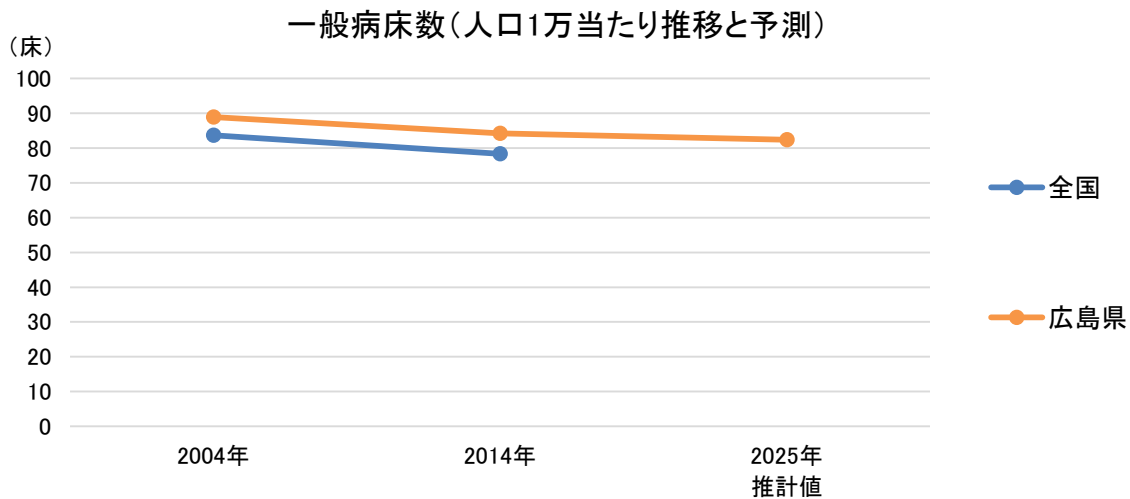
2004年の総病床数が47459床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に43799床(人口1万人当たり154(全国平均132)偏差値54)と、3660床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が6821人(人口10万人当たり237人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に7453人(人口10万人当たり262人(全国平均245人)偏差値52)と、632人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



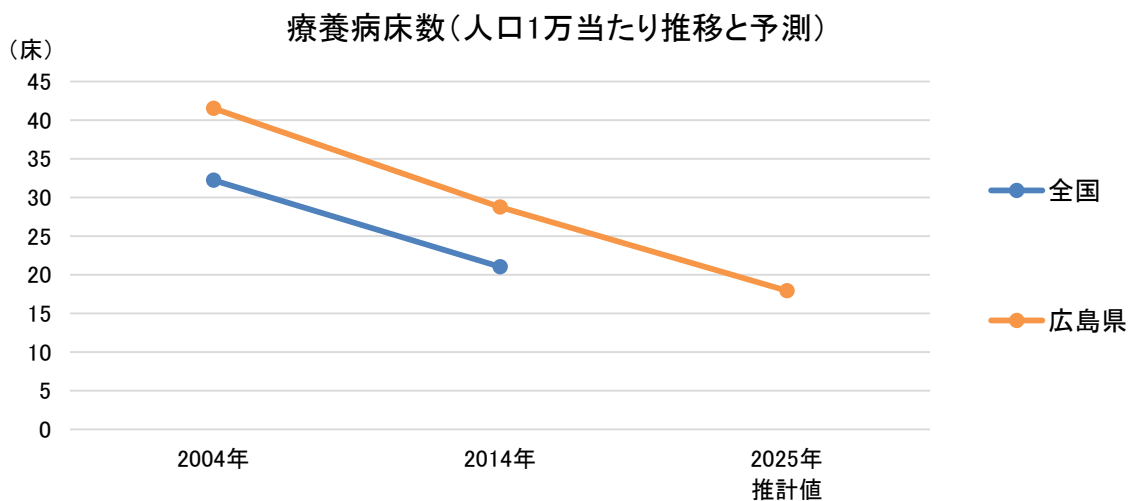
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が25575床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に23941床(人口1万人当たり84(全国平均78)偏差値52)と、1634床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には22143床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



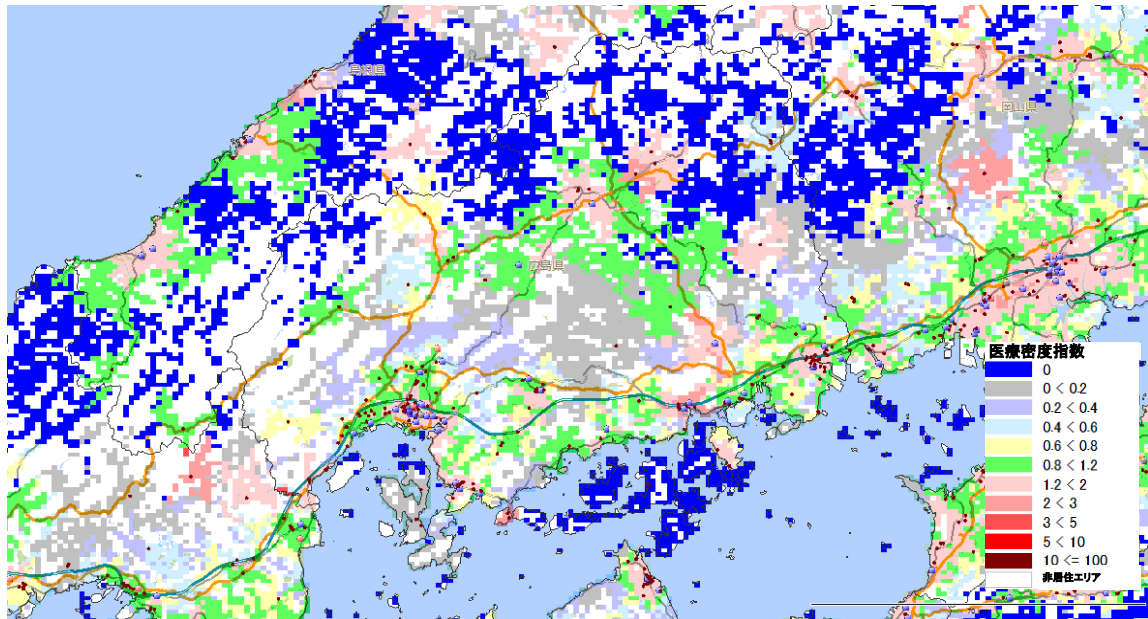
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が11988床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に10690床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、1298床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9263床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



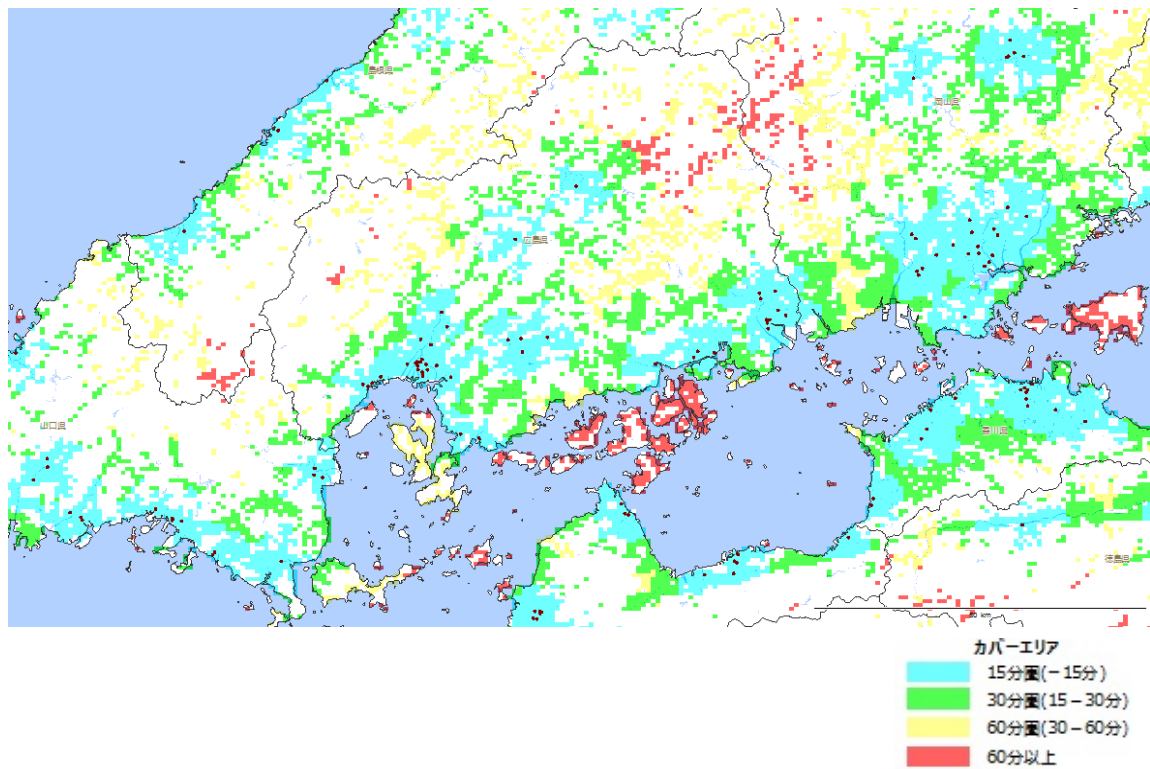
(広島県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



34.広島県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 34-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
広島県	2,844	12位	8,479	11位	335.4		27%	2,689	2,391	372	516	508	-5%	-11%	39%	-2%
広島	1,365	48%	2,506	30%	544.7	大都市型	24%	1,329	1,226	151	235	247	-3%	-8%	56%	5%
広島西	143	5%	568	7%	251.3	地方都市型	29%	129	108	20	27	28	-10%	-16%	35%	4%
呉	253	9%	454	5%	557.6	地方都市型	34%	222	176	43	51	39	-12%	-21%	19%	-24%
広島中央	227	8%	797	9%	285.4	地方都市型	25%	223	208	26	37	38	-2%	-7%	42%	3%
尾三	251	9%	1,035	12%	242.7	地方都市型	34%	226	186	44	52	46	-10%	-18%	18%	-12%
福山・府中	514	18%	1,096	13%	469.1	地方都市型	28%	480	422	68	94	93	-7%	-12%	38%	-1%
備北	91	3%	2,025	24%	44.8	過疎地域型	37%	80	65	20	21	18	-12%	-19%	5%	-14%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 34-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
広島県	1.08	1.40	35,878	42,013	-17.1%
広島	1.14	1.95	15,653	19,091	-22.0%
広島西	0.76	1.44	1,582	2,232	-41.1%
呉	1.14	1.24	3,759	4,117	-9.5%
広島中央	0.83	1.32	2,628	2,976	-13.3%
尾三	1.09	1.01	4,063	4,240	-4.4%
福山・府中	1.06	3.04	6,223	7,673	-23.3%
備北	1.13	1.59	1,970	1,684	14.5%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 34-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	401	63	1.109	153	58	1.121	219	66	1.100	270	55
広島	404	64	1.145	150	56	1.116	225	70	1.160	272	55
広島西	386	60	1.058	151	57	1.087	207	60	1.031	238	46
呉	457	76	1.164	186	69	1.249	239	77	1.107	247	48
広島中央	387	60	1.058	152	57	1.098	206	60	1.024	254	50
尾三	413	66	1.080	161	60	1.109	224	69	1.067	289	60
福山・府中	363	54	1.017	139	53	1.024	198	55	1.011	267	54
備北	428	69	1.113	177	66	1.210	226	70	1.069	350	78

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資_図表34-35を参照。

資_図表 34-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	243	2.9%	8.5	55	2,583	2.6%	91	56
広島	98	40%	7.2	51	1,345	52%	99	60
広島西	13	5%	9.1	56	125	5%	88	54
呉	29	12%	11.5	62	260	10%	103	62
広島中央	20	8%	8.8	55	171	7%	75	48
尾三	25	10%	10.0	58	211	8%	84	52
福山・府中	47	19%	9.1	56	378	15%	74	47
備北	11	5%	12.1	63	93	4%	103	62

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 34-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	2,583	2.6%	91	56	2,361	2.5%	83	55	222	2.8%	7.8	52
広島	1,345	52%	99	60	1,245	53%	91	60	100	45%	7.3	52
広島西	125	5%	88	54	117	5%	82	55	8	4%	5.6	49
呉	260	10%	103	62	239	10%	95	62	21	9%	8.3	53
広島中央	171	7%	75	48	155	7%	68	47	16	7%	7.0	51
尾三	211	8%	84	52	192	8%	76	52	19	9%	7.6	52
福山・府中	378	15%	74	47	333	14%	65	45	45	20%	8.8	54
備北	93	4%	103	62	80	3%	88	58	13	6%	14.3	63

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 34-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
広島県	40,393	2.6%	1,420	54	3,194	3.0%	112	53	43,587	2.6%	1,533	54
広島	17,062	42%	1,250	50	1,511	47%	111	53	18,573	43%	1,361	51
広島西	2,564	6%	1,796	61	93	3%	65	48	2,657	6%	1,861	60
呉	4,595	11%	1,817	62	305	10%	121	54	4,900	11%	1,938	61
広島中央	3,407	8%	1,499	55	170	5%	75	49	3,577	8%	1,574	55
尾三	4,480	11%	1,784	61	280	9%	111	53	4,760	11%	1,895	60
福山・府中	6,470	16%	1,259	51	655	21%	127	54	7,125	16%	1,386	51
備北	1,815	4%	2,003	66	180	6%	199	61	1,995	5%	2,202	66
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 34-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
広島県	21,184	2.4%	745	52	10,052	3.1%	353	55	8,972	2.7%	315	52
広島	8,886	42%	651	48	4,544	45%	333	54	3,555	40%	260	50
広島西	1,157	5%	810	55	931	9%	652	69	476	5%	333	53
呉	2,343	11%	926	60	859	9%	340	54	1,347	15%	533	62
広島中央	1,691	8%	744	52	724	7%	318	53	938	10%	413	57
尾三	2,554	12%	1,017	64	1,009	10%	402	57	917	10%	365	55
福山・府中	3,725	18%	725	51	1,235	12%	240	49	1,504	17%	293	51
備北	828	4%	914	59	750	7%	828	77	235	3%	259	50
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 34-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
広島県	1,912	2.6%	67	52	1,933	3.1%	68	52
広島	896	47%	66	52	758	39%	56	49
広島西	180	9%	126	64	58	3%	41	47
呉	183	10%	72	53	117	6%	46	48
広島中央	49	3%	22	42	147	8%	65	51
尾三	156	8%	62	51	304	16%	121	61
福山・府中	398	21%	77	54	415	21%	81	54
備北	50	3%	55	49	134	7%	148	66
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 34-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
広島県	13,855	11,878	527	26,513	9,148	9,622	56.5%	52	5.2%	48
広島	5,591	4,667	268	11,462	4,149	4,337	52.9%	50	5.8%	49
広島西	1,049	1,049	0	1,512	87	949	92.3%	67	0.0%	46
呉	1,787	1,691	0	2,774	618	859	73.2%	59	0.0%	46
広島中央	1,364	960	20	2,043	731	704	56.8%	52	2.8%	47
尾三	1,504	1,356	148	2,976	1,198	861	53.1%	50	14.7%	52
福山・府中	1,771	1,407	50	4,722	2,285	1,203	38.1%	44	4.0%	48
備北	789	748	41	1,024	80	709	90.3%	66	5.5%	48
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 34-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
広島県	68,100	2.4%	2,395	52	25,332	2.5%	891	53
広島	37,404	55%	2,740	55	12,204	48%	894	53
広島西	4,104	6%	2,875	56	1,752	7%	1,227	65
呉	7,404	11%	2,928	57	1,920	8%	759	48
広島中央	948	1%	417	33	1,380	5%	607	43
尾三	5,832	9%	2,322	51	2,436	10%	970	56
福山・府中	10,464	15%	2,035	48	4,956	20%	964	56
備北	1,944	3%	2,145	49	684	3%	755	48
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 34-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
広島県	7,923	2.3%	279	51	4,636	2.2%	163	49	3,287	2.5%	116	54
広島	4,081	52%	299	53	2,330	50%	171	50	1,752	53%	128	58
広島西	396	5%	277	51	245	5%	171	50	151	5%	106	51
呉	856	11%	339	58	526	11%	208	56	330	10%	131	59
広島中央	491	6%	216	44	284	6%	125	43	207	6%	91	46
尾三	642	8%	255	48	383	8%	152	47	259	8%	103	50
福山・府中	1,205	15%	234	46	710	15%	138	45	496	15%	96	48
備北	251	3%	277	51	159	3%	175	51	92	3%	102	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

34.広島県(2017年版)

資_図表 34-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		12.3	(6.5)			9.8	(4.5)			8.2	(3.7)	
広島県	2.4%	13.3	52		2.3%	10.1	51		2.1%	7.7	49	
広島	58%	16.2	56		56%	11.7	54		55%	8.7	51	
広島西	3%	7.7	43		6%	11.9	55		6%	8.4	51	
呉	9%	13.0	51		10%	11.1	53		10%	8.7	51	
広島中央	4%	7.0	42		6%	7.9	46		4%	3.5	37	
尾三	8%	12.7	51		7%	7.6	45		7%	6.4	45	
福山・府中	14%	10.1	47		13%	7.4	45		16%	6.8	46	
備北	4%	15.4	55		2%	6.6	43		3%	6.6	46	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		4.2	(2.1)			7.4	(3.1)			5.9	(2.5)	
広島県	2.3%	4.4	51		2.4%	7.8	51		2.5%	6.6	53	
広島	65%	5.9	58		57%	9.2	56		55%	7.6	57	
広島西	6%	4.9	54		5%	7.7	51		5%	6.3	52	
呉	6%	3.2	45		10%	8.7	54		9%	6.7	53	
広島中央	3%	1.8	38		6%	6.2	46		4%	3.5	41	
尾三	6%	3.2	45		6%	5.6	44		6%	4.8	46	
福山・府中	12%	2.9	44		14%	6.0	46		18%	6.6	53	
備北	2%	2.2	41		2%	4.4	40		2%	4.4	44	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		6.5	(3.5)			16.0	(6.9)			12.1	(4.4)	
広島県	2.7%	8.0	54		2.6%	18.5	54		2.6%	14.3	55	
広島	56%	9.3	58		50%	19.4	55		53%	15.8	58	
広島西	4%	5.6	47		3%	11.9	44		4%	11.2	48	
呉	7%	6.7	51		10%	20.2	56		10%	15.8	58	
広島中央	11%	11.4	64		7%	15.8	50		8%	15.0	56	
尾三	10%	8.8	56		9%	18.3	53		8%	12.7	51	
福山・府中	11%	4.9	45		18%	18.9	54		14%	11.3	48	
備北	1%	3.3	41		2%	14.3	48		3%	12.1	50	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
広島県	119	2.1%	4.2	48	163	2.6%	5.7	53	131	2.5%	4.6	52
広島	60	50%	4.4	50	84	52%	6.2	55	74	56%	5.4	54
広島西	6	5%	4.2	49	11	7%	7.7	62	5	4%	3.5	48
呉	14	12%	5.5	55	17	10%	6.7	57	17	13%	6.7	59
広島中央	7	6%	3.1	43	9	6%	4.0	45	3	2%	1.3	40
尾三	7	6%	2.8	42	15	9%	6.0	54	9	7%	3.6	48
福山・府中	21	18%	4.1	48	23	14%	4.5	48	20	15%	3.9	49
備北	4	3%	4.4	50	4	2%	4.4	47	3	2%	3.3	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
広島県	163	2.5%	5.7	52	21	1.4%	0.7	45	82	2.5%	2.9	52
広島	94	58%	6.9	56	13	62%	1.0	47	48	59%	3.5	55
広島西	6	4%	4.2	47	2	10%	1.4	52	4	5%	2.8	51
呉	16	10%	6.3	54	2	10%	0.8	45	10	12%	4.0	58
広島中央	7	4%	3.1	43	0	0%	0	37	0	0%	0	35
尾三	9	6%	3.6	45	1	5%	0.4	41	6	7%	2.4	49
福山・府中	25	15%	4.9	49	3	14%	0.6	43	14	17%	2.7	51
備北	6	4%	6.6	55	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
広島県	33	1.7%	1.2	47	60	2.5%	2.1	52
広島	19	58%	1.4	49	38	63%	2.8	57
広島西	2	6%	1.4	49	1	2%	0.7	41
呉	2	6%	0.8	43	6	10%	2.4	54
広島中央	1	3%	0.4	40	2	3%	0.9	42
尾三	1	3%	0.4	40	1	2%	0.4	39
福山・府中	8	24%	1.6	50	11	18%	2.1	52
備北	0	0%	0	37	1	2%	1.1	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 34-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
広島県	29,989	2.7%	1,054	56	23,719	2.6%	834	55	6,270	3.2%	220	59
広島	13,761	46%	1,008	55	10,546	44%	773	52	3,215	51%	235	61
広島西	1,739	6%	1,218	62	1,452	6%	1,017	62	287	5%	201	56
呉	3,048	10%	1,205	61	2,481	10%	981	61	568	9%	224	59
広島中央	2,102	7%	924	52	1,758	7%	773	52	344	5%	151	49
尾三	3,246	11%	1,292	65	2,643	11%	1,052	64	603	10%	240	62
福山・府中	4,911	16%	955	53	3,919	17%	762	52	992	16%	193	55
備北	1,182	4%	1,304	65	920	4%	1,015	62	263	4%	290	68
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 34-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
広島県	3,114	2.5%	110	52	6,767	2.3%	238	51
広島	1,306	42%	96	49	3,468	51%	254	53
広島西	220	7%	154	60	318	5%	223	50
呉	302	10%	120	54	589	9%	233	51
広島中央	269	9%	118	54	379	6%	167	43
尾三	387	12%	154	60	609	9%	242	52
福山・府中	544	17%	106	51	1,243	18%	242	52
備北	87	3%	96	49	161	2%	178	45
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 34-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
広島県	565	4.3%	1.5	66	38	3.1%	0.1	54	306	2.9%	0.8	59
広島	279	49%	1.9	74	15	39%	0.1	54	156	51%	1.0	69
広島西	24	4%	1.2	59	2	5%	0.1	54	20	7%	1.0	68
呉	49	9%	1.1	57	4	11%	0.1	53	28	9%	0.7	50
広島中央	42	7%	1.6	68	2	5%	0.1	50	24	8%	0.9	63
尾三	65	12%	1.5	65	3	8%	0.1	49	27	9%	0.6	48
福山・府中	85	15%	1.2	60	11	29%	0.2	64	42	14%	0.6	49
備北	21	4%	1.1	55	1	3%	0.1	46	9	3%	0.5	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 34-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	42,893	2.6%	115	57	24,712	2.5%	66	54	18,181	2.7%	49	54
広島	18,882	44%	125	63	9,843	40%	65	53	9,039	50%	60	61
広島西	1,932	5%	99	47	1,185	5%	60	49	747	4%	38	47
呉	4,179	10%	97	46	3,061	12%	71	58	1,118	6%	26	40
広島中央	3,042	7%	116	57	1,978	8%	75	61	1,064	6%	41	49
尾三	4,736	11%	107	52	3,031	12%	68	55	1,705	9%	38	48
福山・府中	8,004	19%	117	58	4,103	17%	60	49	3,901	21%	57	59
備北	2,118	5%	107	52	1,511	6%	76	62	607	3%	31	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 34-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	8,991	2.5%	24	53	12,571	2.2%	34	49	3,150	4.9%	8.5	61
広島	3,242	36%	22	48	5,071	40%	34	49	1,530	49%	10.2	65
広島西	476	5%	24	53	491	4%	25	40	218	7%	11.1	67
呉	1,322	15%	31	64	1,417	11%	33	48	322	10%	7.5	58
広島中央	731	8%	28	59	1,023	8%	39	54	224	7%	8.5	61
尾三	1,242	14%	28	59	1,379	11%	31	46	410	13%	9.2	63
福山・府中	1,483	16%	22	49	2,263	18%	33	48	357	11%	5.2	53
備北	495	6%	25	54	927	7%	47	62	89	3%	4.5	51
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	4,428	1.9%	11.9	48	511	2.2%	1.4	50	5,607	2.9%	15.1	55
広島	2,802	63%	18.6	54	140	27%	0.9	48	2,829	50%	18.8	62
広島西	217	5%	11.1	47	0	0%	0	43	180	3%	9.2	45
呉	152	3%	3.5	40	76	15%	1.8	52	332	6%	7.7	42
広島中央	248	6%	9.5	46	30	6%	1.1	49	216	4%	8.2	43
尾三	337	8%	7.6	44	75	15%	1.7	51	495	9%	11.2	48
福山・府中	576	13%	8.4	45	100	20%	1.5	50	1,312	23%	19.2	62
備北	96	2%	4.8	41	90	18%	4.5	65	243	4%	12.2	50
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

34.広島県(2017年版)

資_図表 34-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
広島県	7,635	3.3%	20.5	58	620	4.0%	1.7	54	7,015	3.2%	18.9	58
広島	3,268	43%	21.7	60	39	6%	0.3	46	3,229	46%	21.4	62
広島西	350	5%	17.8	55	0	0%	0	44	350	5%	17.8	56
呉	558	7%	13.0	48	138	22%	3.2	63	420	6%	9.8	44
広島中央	570	7%	21.7	60	156	25%	5.9	80	414	6%	15.8	53
尾三	798	10%	18.0	55	125	20%	2.8	61	673	10%	15.2	52
福山・府中	1,913	25%	28.0	69	132	21%	1.9	56	1,781	25%	26.1	69
備北	178	2%	9.0	42	30	5%	1.5	53	148	2%	7.4	41
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 34-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
広島県	5,073	3.1%	13.6	64	3,667	3.1%	9.9	62	1,406	3.0%	3.8	60
広島	2,286	45%	15.2	71	1,514	41%	10.1	63	772	55%	5.1	74
広島西	262	5%	13.3	63	198	5%	10.1	63	64	5%	3.3	54
呉	566	11%	13.2	62	431	12%	10.0	63	134	10%	3.1	53
広島中央	428	8%	16.3	76	324	9%	12.4	74	104	7%	4.0	61
尾三	547	11%	12.3	59	431	12%	9.7	61	116	8%	2.6	47
福山・府中	780	15%	11.4	55	600	16%	8.8	57	180	13%	2.6	48
備北	205	4%	10.3	50	168	5%	8.5	55	37	3%	1.8	39
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
広島県	42,602	2.9%	115	69	36,999	3.0%	99	70	5,603	2.5%	15.1	52
広島	18,516	43%	123	76	15,360	42%	102	72	3,156	56%	21.0	63
広島西	1,750	4%	89	49	1,399	4%	71	46	351	6%	17.9	57
呉	4,348	10%	101	59	3,831	10%	89	61	517	9%	12.0	47
広島中央	3,073	7%	117	71	2,824	8%	108	77	249	4%	9.5	42
尾三	4,397	10%	99	57	3,972	11%	90	61	425	8%	9.6	42
福山・府中	8,225	19%	121	74	7,482	20%	110	79	743	13%	10.9	45
備北	2,294	5%	115	70	2,131	6%	107	77	163	3%	8.2	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
広島県	33,675	3.1%	91	58	12,281	2.7%	33	54	36,437	2.5%	98	52
広島	17,776	53%	118	66	7,354	60%	49	68	18,986	52%	126	61
広島西	784	2%	40	42	580	5%	30	51	1,662	5%	85	48
呉	4,450	13%	104	62	1,002	8%	23	46	3,803	10%	88	49
広島中央	1,151	3%	44	43	655	5%	25	48	1,770	5%	67	42
尾三	2,705	8%	61	48	1,057	9%	24	47	3,556	10%	80	46
福山・府中	5,974	18%	88	57	1,340	11%	20	43	5,351	15%	78	46
備北	835	2%	42	42	293	2%	15	39	1,309	4%	66	42
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
広島県		2,876,642	2,843,990	-1%	2,688,800	-7%	10%	6%	16%
広島	大都市型	1,333,953	1,365,134	2%	1,329,204	0%	15%	11%	27%
広島西	地方都市型	145,809	142,771	-2%	128,917	-12%	12%	5%	17%
呉	地方都市型	280,942	252,891	-10%	221,612	-21%	2%	-6%	-4%
広島中央	地方都市型	224,323	227,325	1%	222,702	-1%	10%	8%	19%
尾三	地方都市型	273,287	251,157	-8%	226,245	-17%	2%	-2%	0%
福山・府中	地方都市型	515,865	514,097	0%	479,994	-7%	11%	6%	18%
備北	過疎地域型	102,463	90,615	-12%	80,126	-22%	-5%	-5%	-10%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 34-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
広島県	262	9.1	55	244	8.6	55	-18	-7%	225
広島	103	7.7	52	98	7.2	51	-5	-5%	93
広島西	14	9.6	56	13	9.1	56	-1	-7%	12
呉	35	12.5	64	30	11.9	63	-5	-14%	25
広島中央	21	9.4	56	20	8.8	55	-1	-5%	19
尾三	26	9.5	56	25	10.0	58	-1	-4%	24
福山・府中	53	10.3	58	47	9.1	56	-6	-11%	40
備北	10	9.8	57	11	12.1	63	1	10%	12
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 34-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
広島県	2,615	91	57	2,591	91	56	-24	-1%	2,566
広島	1,330	100	62	1,342	98	60	12	1%	1,355
広島西	127	87	56	124	87	54	-3	-2%	121
呉	297	106	65	264	104	64	-33	-11%	228
広島中央	166	74	49	171	75	48	5	3%	177
尾三	239	87	56	215	86	54	-24	-10%	189
福山・府中	358	69	47	379	74	47	21	6%	402
備北	98	96	60	96	106	64	-2	-2%	94
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 34-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
広島県	6,821	237	53	7,453	262	52	632	9%	8,148
広島	3,472	260	56	3,952	289	55	480	14%	4,480
広島西	308	211	50	372	261	52	64	21%	442
呉	820	292	60	819	324	58	-1	0%	818
広島中央	393	175	46	437	192	44	44	11%	485
尾三	609	223	51	572	228	48	-37	-6%	531
福山・府中	996	193	48	1,083	211	46	87	9%	1,179
備北	223	218	51	218	241	50	-5	-2%	213
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 34-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
広島県	47,459	165	54	43,799	154	54	-3,660	-8%	39,774
広島	20,223	152	52	18,664	137	51	-1,559	-8%	16,949
広島西	2,817	193	59	2,689	188	60	-128	-5%	2,548
呉	5,444	194	59	4,963	196	61	-481	-9%	4,434
広島中央	3,760	168	55	3,555	156	54	-205	-5%	3,330
尾三	5,153	189	58	4,838	193	61	-315	-6%	4,492
福山・府中	7,920	154	52	7,097	138	51	-823	-10%	6,192
備北	2,142	209	62	1,993	220	66	-149	-7%	1,829
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 34-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
広島県	25,575	89	52	23,941	84	52	-1,634	-6%	22,143	82
広島	11,237	84	50	10,200	75	49	-1,037	-9%	9,059	68
広島西	1,312	90	52	1,226	86	53	-86	-7%	1,131	88
呉	2,688	96	54	2,631	104	59	-57	-2%	2,568	116
広島中央	1,814	81	49	1,819	80	51	5	0%	1,825	82
尾三	3,122	114	61	2,860	114	63	-262	-8%	2,572	114
福山・府中	4,455	86	51	4,248	83	52	-207	-5%	4,020	84
備北	947	92	53	957	106	60	10	1%	968	121
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 34-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
広島県	11,988	42	55	10,690	29	57	-1,298	-11%	9,263	18
広島	5,055	47	58	4,832	32	59	-223	-4%	4,587	20
広島西	1,029	70	71	987	50	75	-42	-4%	941	34
呉	1,258	35	52	939	22	51	-319	-25%	588	12
広島中央	888	42	55	744	28	56	-144	-16%	586	16
尾三	1,070	28	48	1,048	24	52	-22	-2%	1,024	20
福山・府中	1,778	35	51	1,339	20	49	-439	-25%	856	9
備北	910	49	59	801	40	66	-109	-12%	681	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 34-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

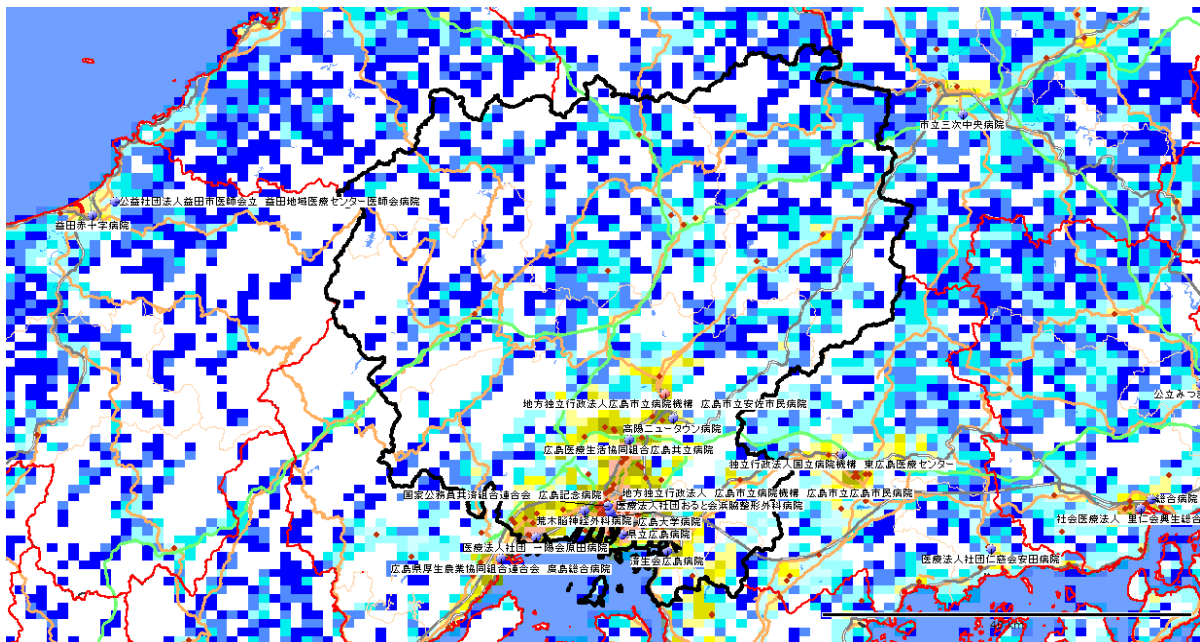
二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
										全国
広島県	1,068	61	1.124	509	55	1.080	517	68	1.159	
広島	1,095	63	1.180	502	54	1.093	546	75	1.250	
広島西	1,076	62	1.123	542	58	1.138	492	62	1.093	
呉	1,116	65	1.159	542	58	1.132	531	72	1.174	
広島中央	1,067	61	1.093	543	58	1.119	486	61	1.061	
尾三	1,069	61	1.104	534	58	1.102	500	64	1.108	
福山・府中	977	54	1.014	451	49	0.944	489	62	1.078	
備北	1,056	60	1.080	559	60	1.123	471	57	1.051	
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

ひろしま 34-1. 広島医療圏

構成市区町村⁹

- | | | | |
|-------|-------|------|-----|
| 中区 | 東区 | 南区 | 西区 |
| 安佐南区 | 安佐北区 | 安芸区 | 佐伯区 |
| 安芸高田市 | 府中町 | 海田町 | 熊野町 |
| 坂町 | 安芸太田町 | 北広島町 | |

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I 群
- II 群
- III 群
- 一般病院

(広島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 広島(広島市中区)は、総人口約1365千人(2015年)、面積2506km²、人口密度は545人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 広島の総人口は2025年に1329千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に1226千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の151千人が、2025年にかけて235千人へと増加し(2015年比+56%)、2040年には247千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 広島の一人当たり医療費(国保)は404千円(偏差値64)、介護給付費は272千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 広島の一人当たり急性期医療密度指数²は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.95で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が53(病院医師数50、診療所医師数58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は55とやや多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。広島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の県立広島病院(Ⅱ群・救命)、広島市立安佐市民病院(Ⅱ群)、広島市立広島市民病院(Ⅱ群・救命)、広島大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上のマツダ病院(Ⅲ群)、広島赤十字・原爆病院(Ⅲ群)、中電病院(Ⅲ群)、500例以上の広島記念病院(Ⅲ群)、浜脇整形外科病院(Ⅲ群)、広島鉄道病院(Ⅲ群)、土谷総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 広島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18882人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9843床(偏差値53)、高齢者住宅等が9039床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、15360人(75歳以上1000人当たりの偏差値72)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設65、有料老人ホーム54、軽費ホーム48、グループホーム62、サ高住60である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値74と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値69と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、3156人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(広島医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島医療圏の総人口は、2005年1333953人が、2015年に1365134人と2%増加し、2025年の人口が1329204人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

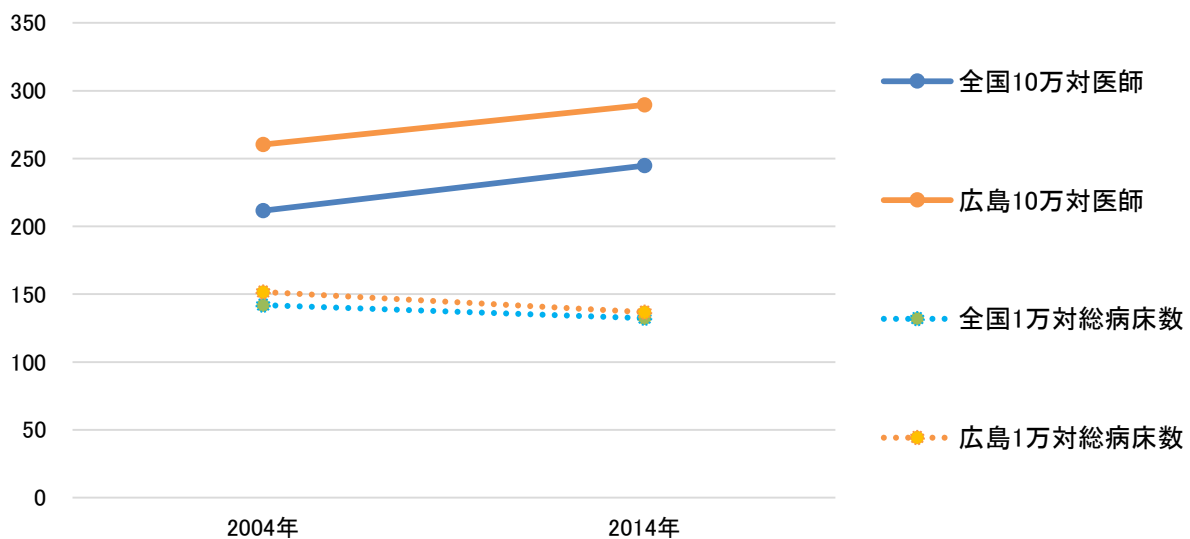
2004年の病院数が103(人口10万人当たり7.7病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に98(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が1330(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に1342(人口10万人当たり98診療所(全国平均79)偏差値60)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数が20223床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に18664床(人口1万人当たり137(全国平均132)偏差値51)と、1559床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

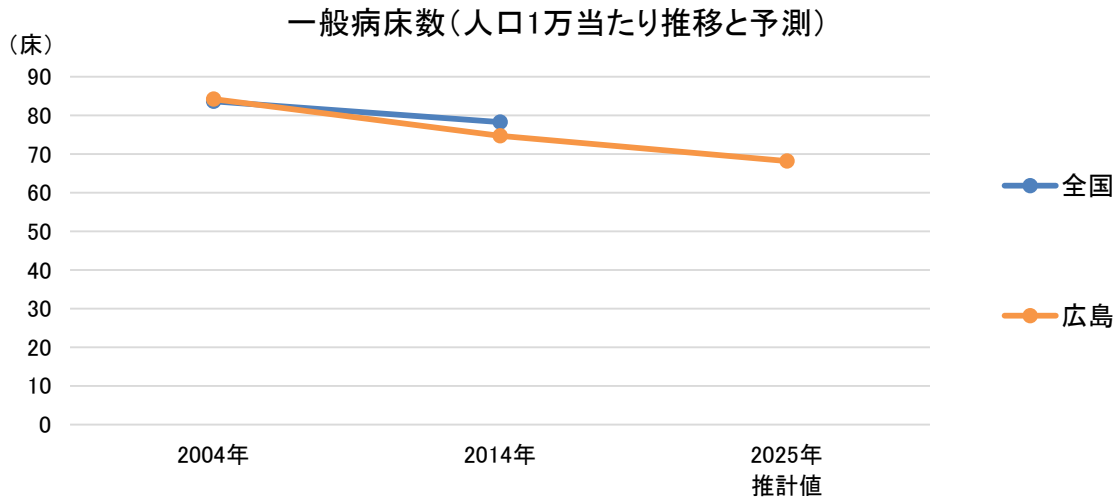
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が3472人(人口10万人当たり260人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に3952人(人口10万人当たり289人(全国平均245人)偏差値55)と、480人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



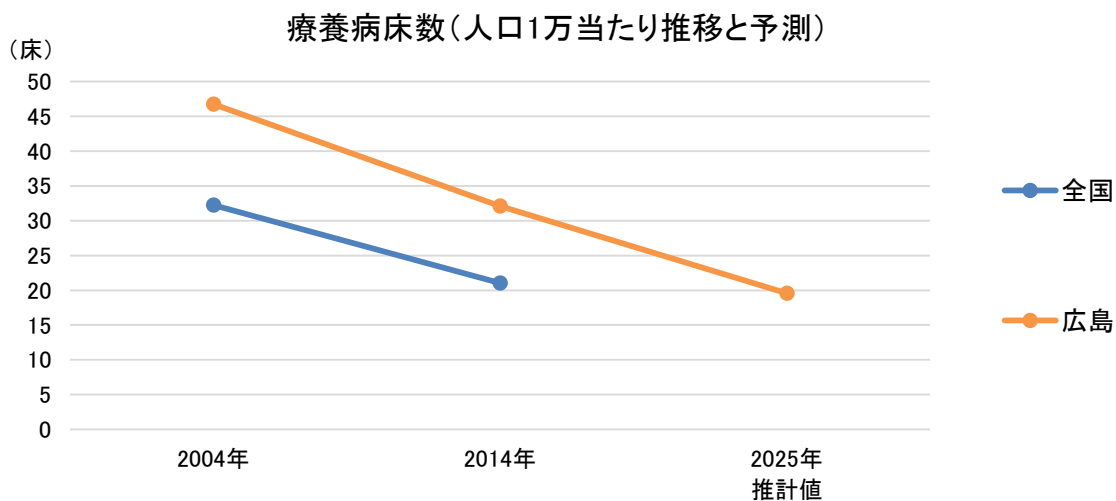
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11237床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に10200床(人口1万人当たり75(全国平均78)偏差値49)と、1037床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9059床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



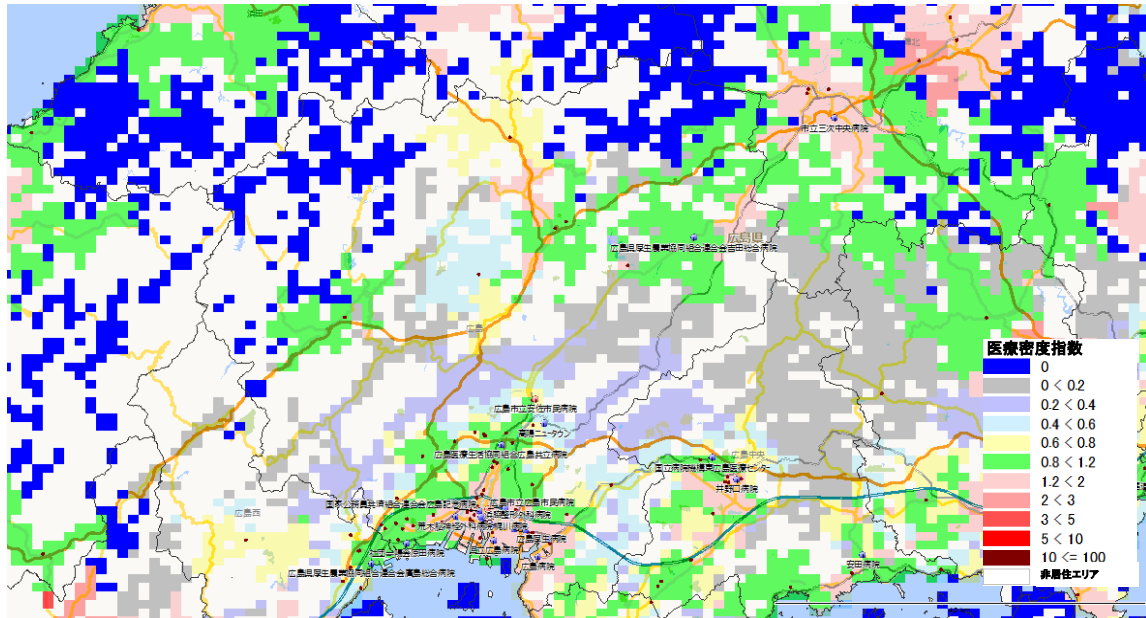
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5055床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に4832床(75歳以上1000人当たり32(全国平均21)偏差値59)と、223床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4587床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



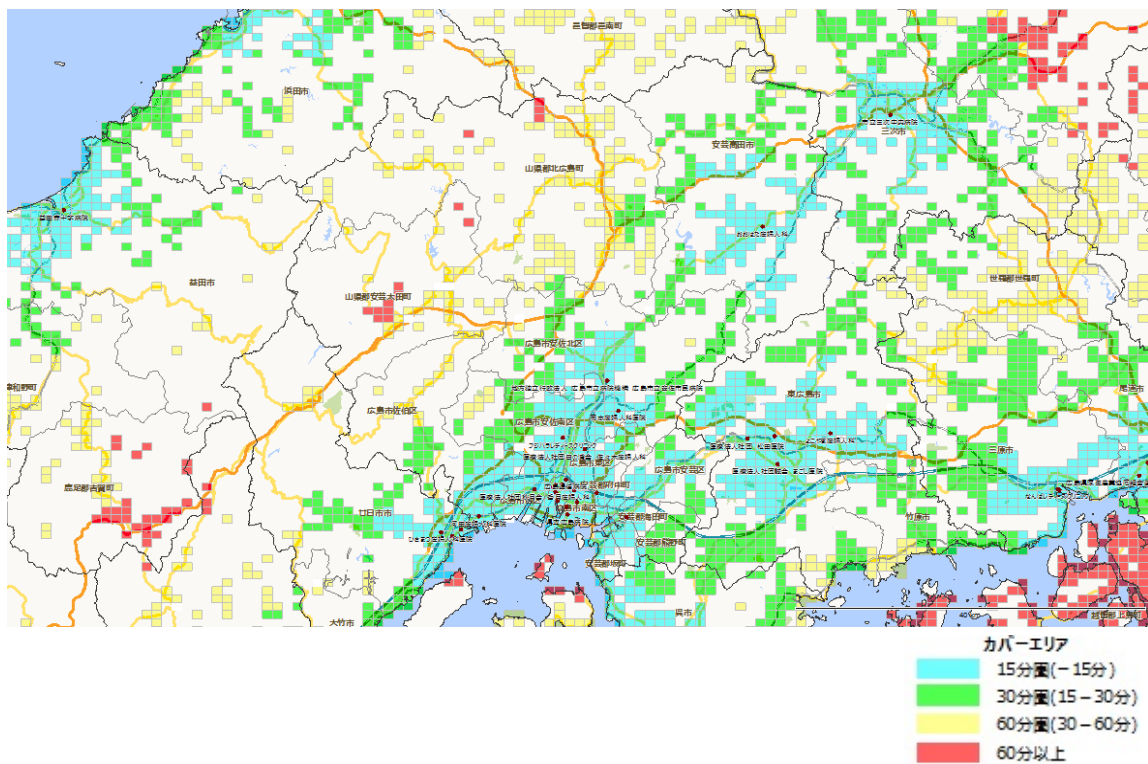
(広島医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

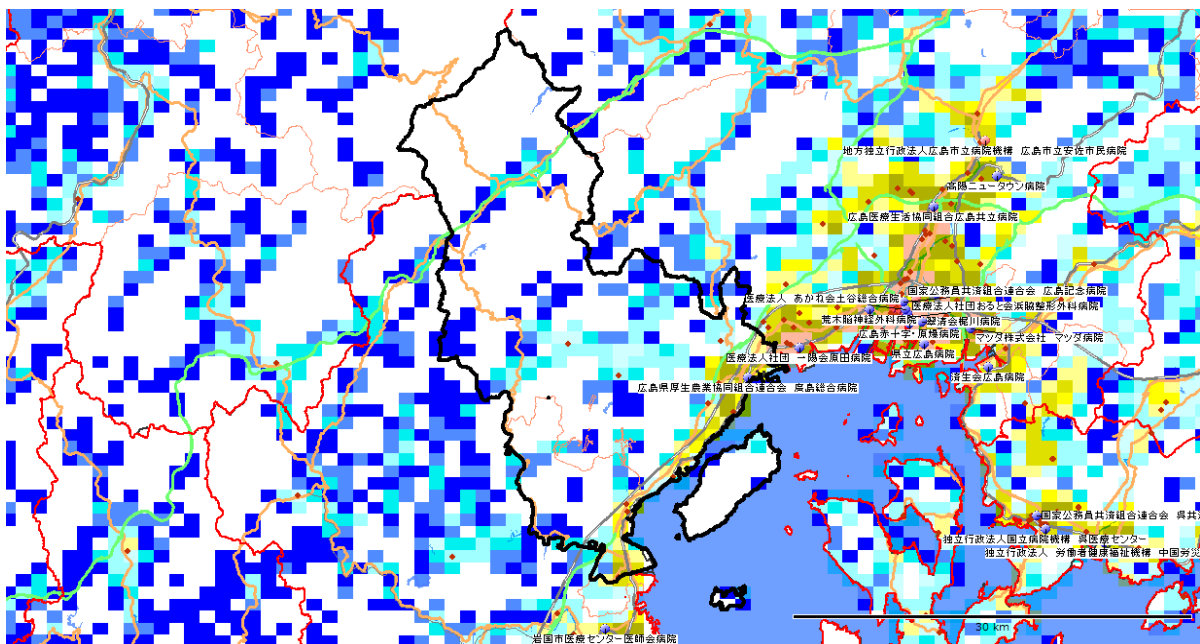


ひろしまにし 34-2. 広島西医療圏

構成市区町村⁹ [大竹市](#)

[廿日市市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(広島西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島西(大竹市)は、総人口約143千人(2015年)、面積568km²、人口密度は251人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島西の総人口は2025年に129千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に108千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には28千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島西の一人当たり医療費(国保)は386千円(偏差値60)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島西の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.44で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。広島西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の広島総合病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1932人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1185床(偏差値49)、高齢者住宅等が747床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1399人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設67、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、351人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-41%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(広島西医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島西医療圏の総人口は、2005年145809人が、2015年に142771人と2%減少し、2025年の人口が128917人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

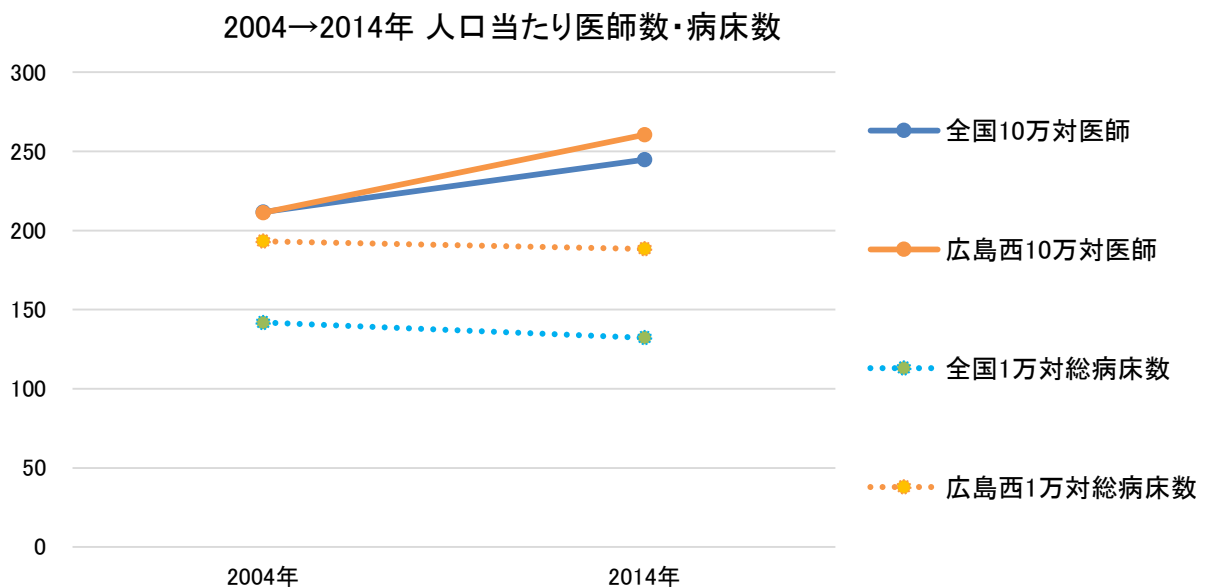
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.6病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に13(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が127(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に124(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、3診療所が減少した。

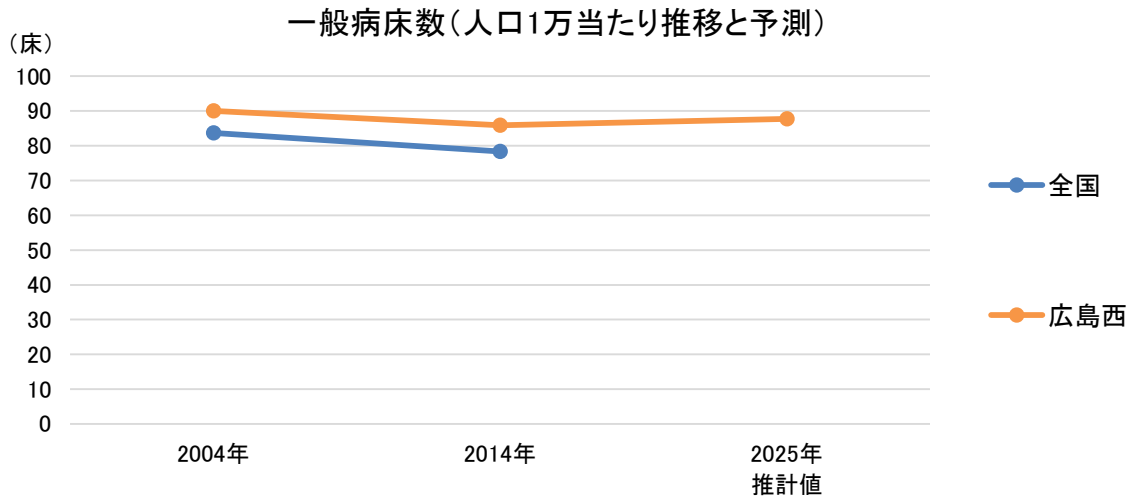
2004年の総病床数が2817床(人口1万人当たり193(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に2689床(人口1万人当たり188(全国平均132)偏差値60)と、128床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が308人(人口10万人当たり211人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に372人(人口10万人当たり261人(全国平均245人)偏差値52)と、64人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



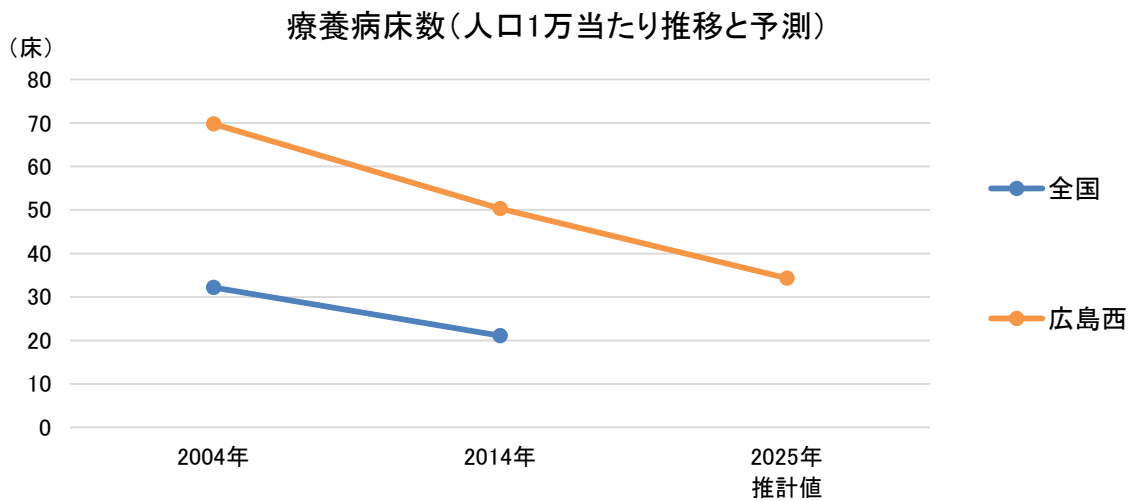
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1312床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1226床(人口1万人当たり86(全国平均78)偏差値53)と、86床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1131床(2025年の推計人口1万人当たり88)になることが予想される。



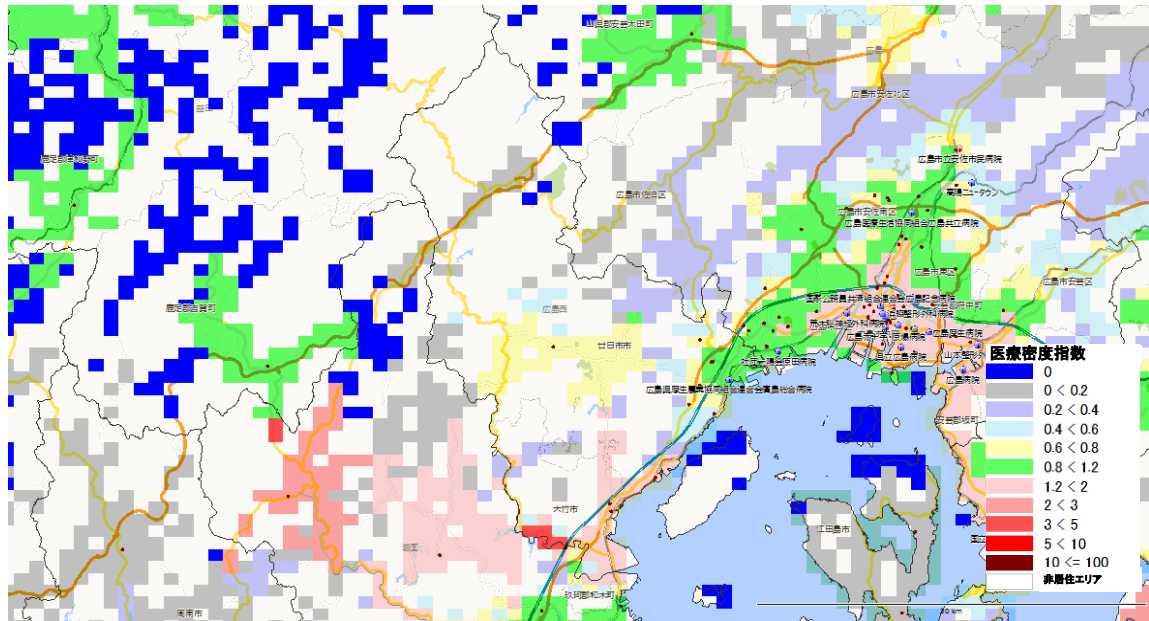
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1029床(75歳以上1000人当たり70(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に987床(75歳以上1000人当たり50(全国平均21)偏差値75)と、42床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には941床(2025年の推計75歳以上1000人当たり34)になることが予想される。



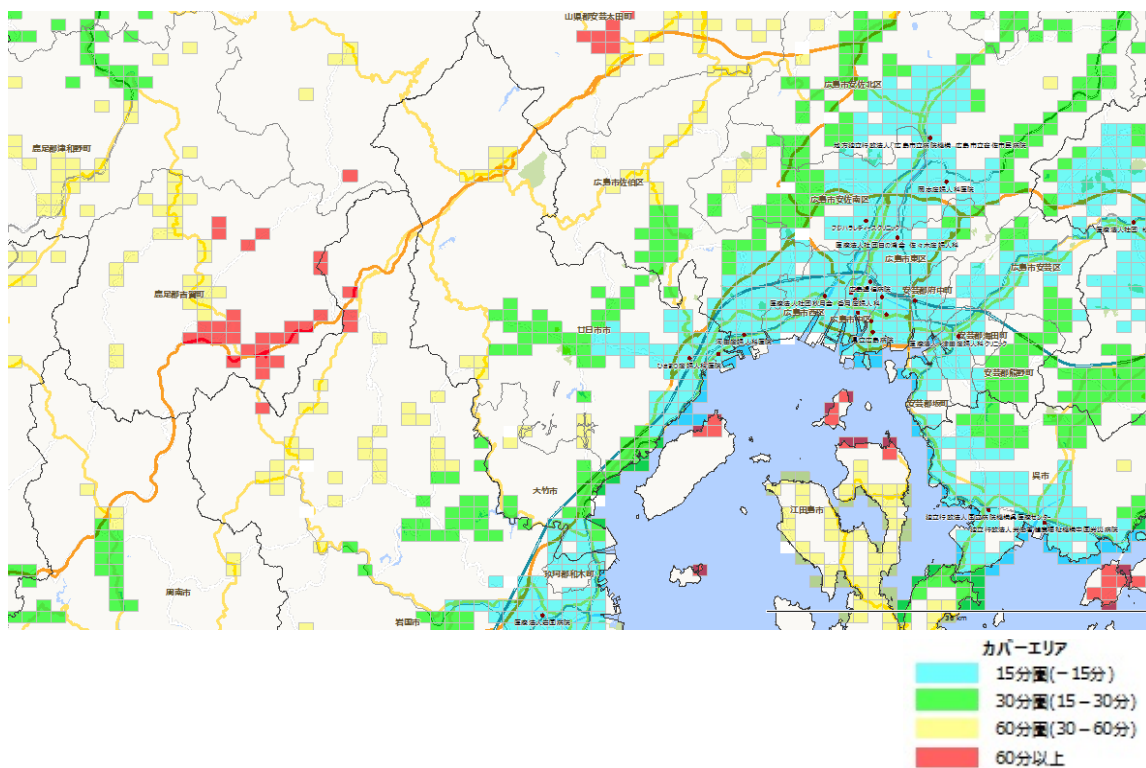
(広島西医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

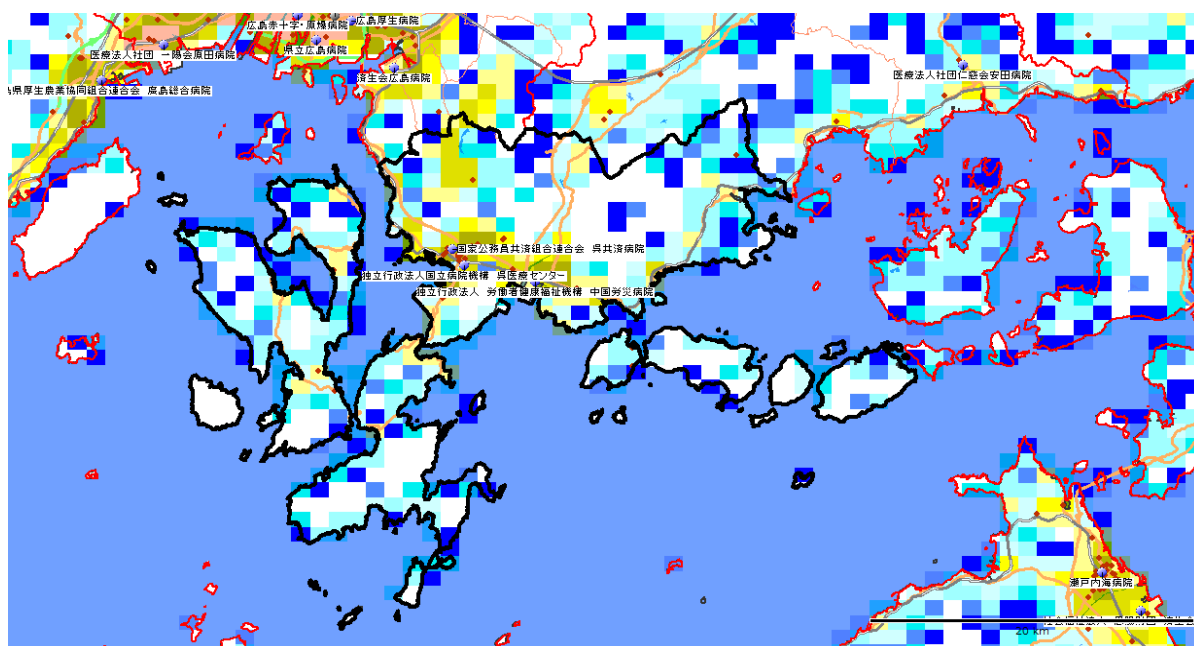


34-3. くれ 呉医療圏

構成市区町村⁹ [呉市](#)

[江田島市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(呉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 呉(呉市)は、総人口約253千人(2015年)、面積454km²、人口密度は558人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 呉の総人口は2025年に222千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に176千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の43千人が、2025年にかけて51千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には39千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 呉の一人当たり医療費(国保)は457千円(偏差値76)、介護給付費は247千円(偏差値48)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 呉の一人当たり急性期医療密度指数2は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.24で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が58(病院医師数56、診療所医師数59)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。呉には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構呉医療センター(Ⅱ群・救命)、中国労災病院(Ⅲ群)、1000例以上の呉共済病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 呉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4179人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3061床(偏差値58)、高齢者住宅等が1118床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3831人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム40、軽費ホーム52、グループホーム42、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、517人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(呉医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

呉医療圏の総人口は、2005年280942人が、2015年に252891人と10%減少し、2025年の人口が221612人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

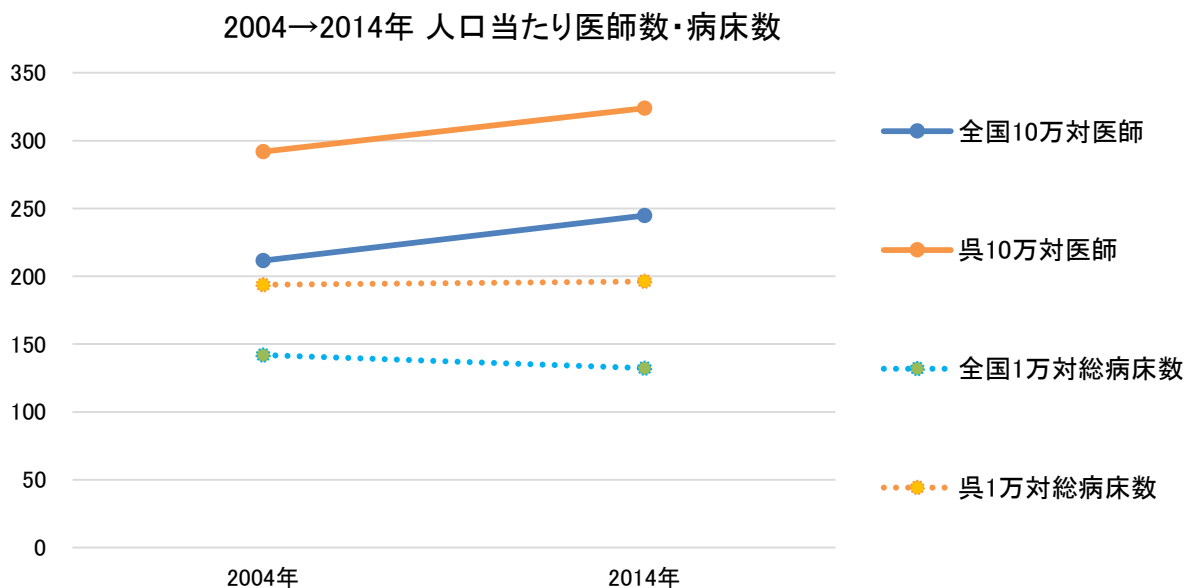
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が35(人口10万人当たり12.5病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2014年に30(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が297(人口10万人当たり106診療所(全国平均76)偏差値65)であったが、2014年に264(人口10万人当たり104診療所(全国平均79)偏差値64)と、33診療所が減少した。

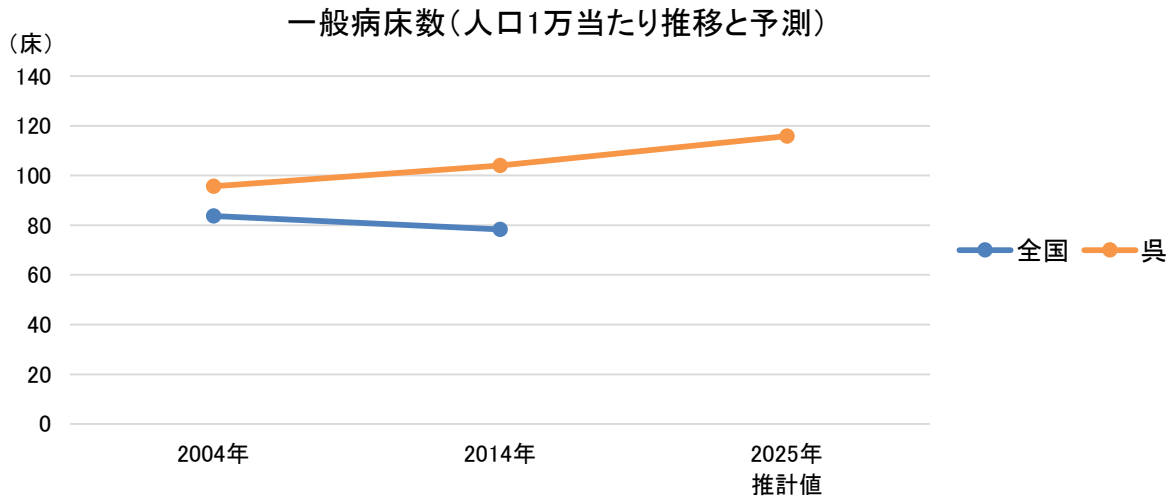
2004年の総病床数が5444床(人口1万人当たり194(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に4963床(人口1万人当たり196(全国平均132)偏差値61)と、481床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が820人(人口10万人当たり292人(全国平均212人)偏差値60)であったが、2014年に819人(人口10万人当たり324人(全国平均245人)偏差値58)と、1人の減少、率にして1%未満の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



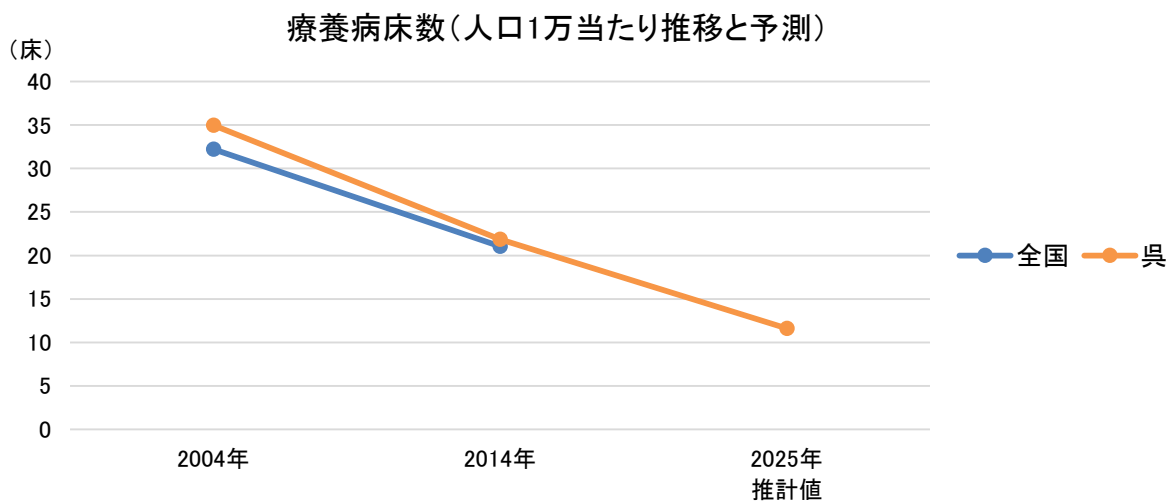
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2688床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に2631床(人口1万人当たり104(全国平均78)偏差値59)と、57床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2568床(2025年の推計人口1万人当たり116)になることが予想される。



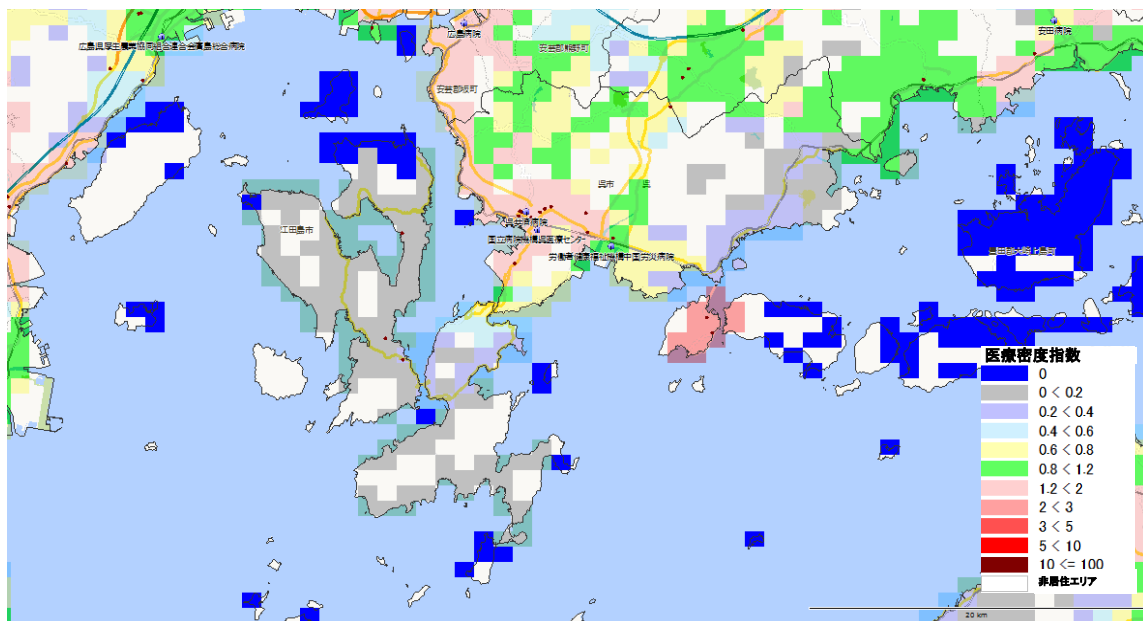
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1258床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に939床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、319床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には588床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



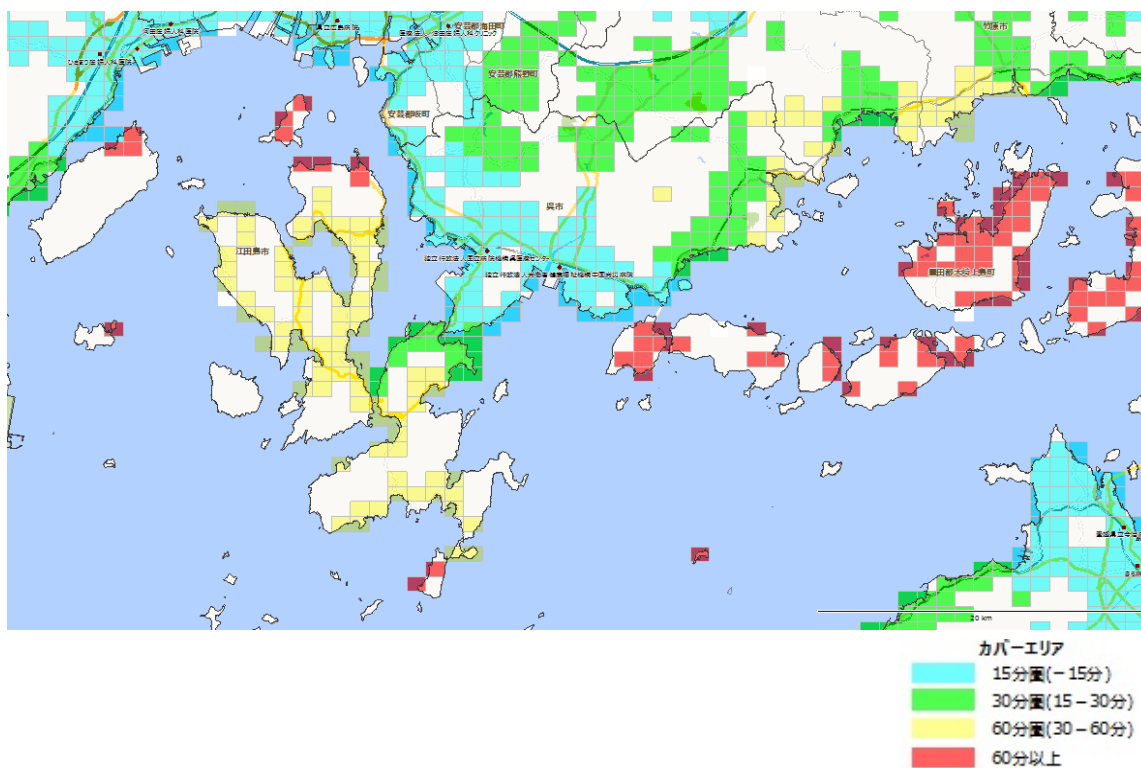
(呉医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

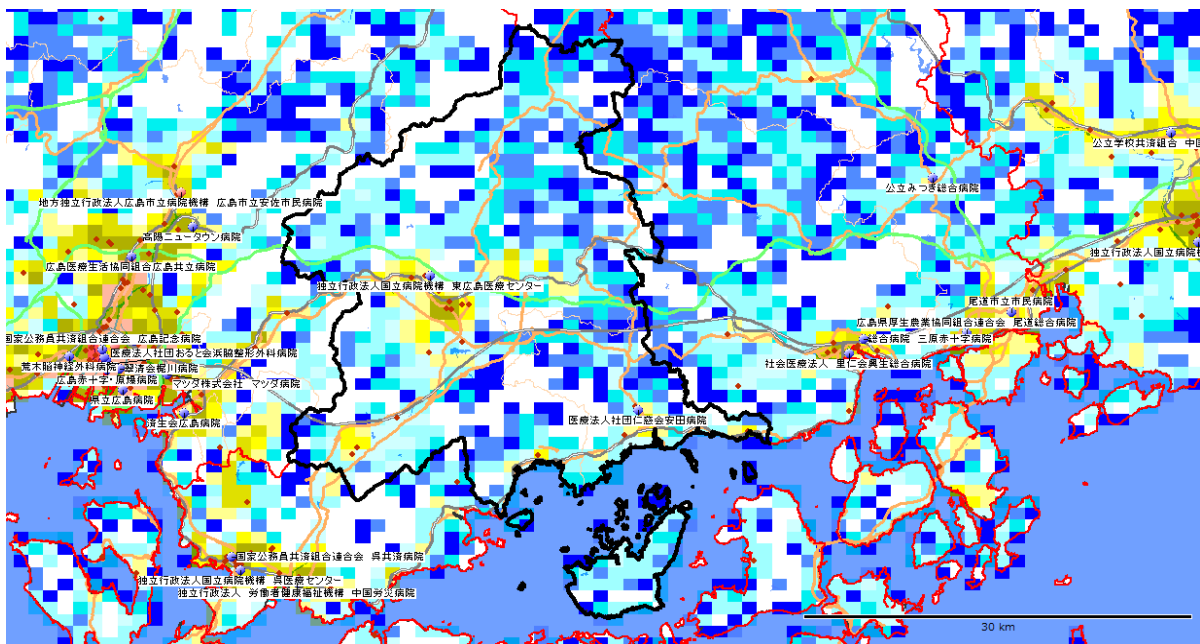
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



34-4. ひろしまちゅうおう 広島中央医療圏

構成市区町村⁹ [竹原市](#) [東広島市](#) [大崎上島町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(広島中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島中央(竹原市)は、総人口約227千人(2015年)、面積797km²、人口密度は285人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島中央の総人口は2025年に223千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に208千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+42%)、2040年には38千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島中央の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値60)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島中央の一人当たり急性期医療密度指数²は0.83、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.32で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。広島中央には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構東広島医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3042人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1978床(偏差値61)、高齢者住宅等が1064床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2824人(75歳以上1000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム46、軽費ホーム49、グループホーム43、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値68と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、249人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(広島中央医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島中央医療圏の総人口は、2005年224323人が、2015年に227325人と1%増加し、2025年の人口が222702人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

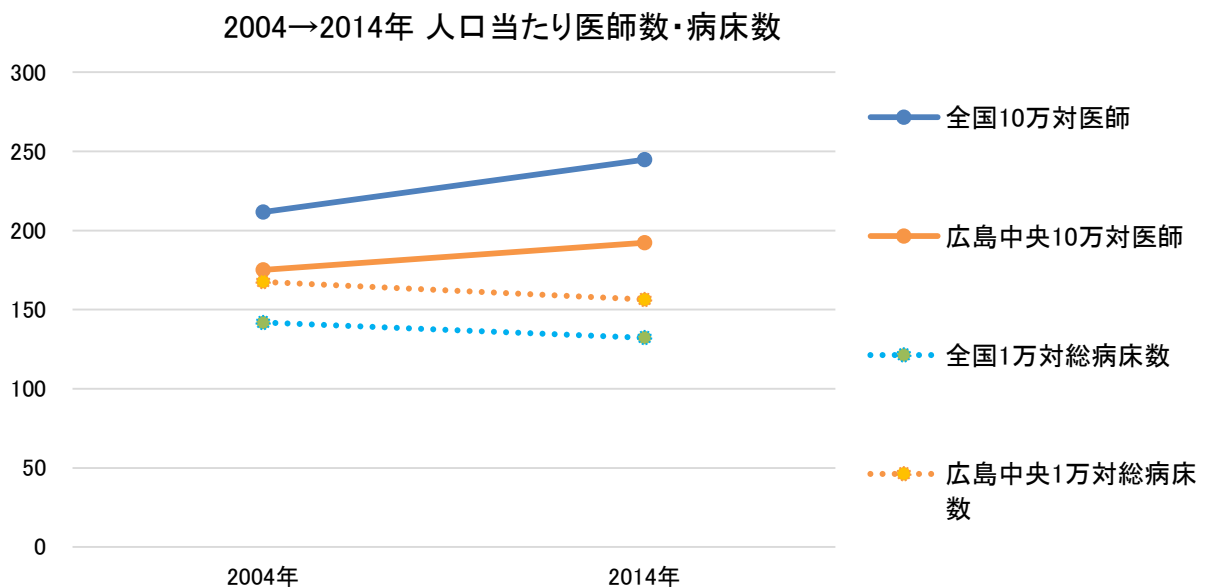
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に20(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が166(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に171(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、5診療所が増加した。

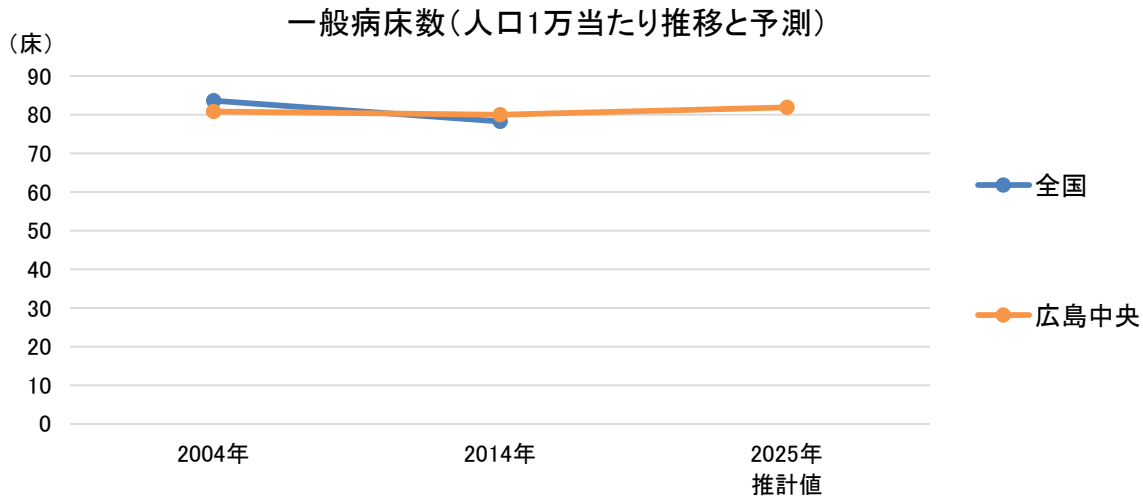
2004年の総病床数が3760床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に3555床(人口1万人当たり156(全国平均132)偏差値54)と、205床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が393人(人口10万人当たり175人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に437人(人口10万人当たり192人(全国平均245人)偏差値44)と、44人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



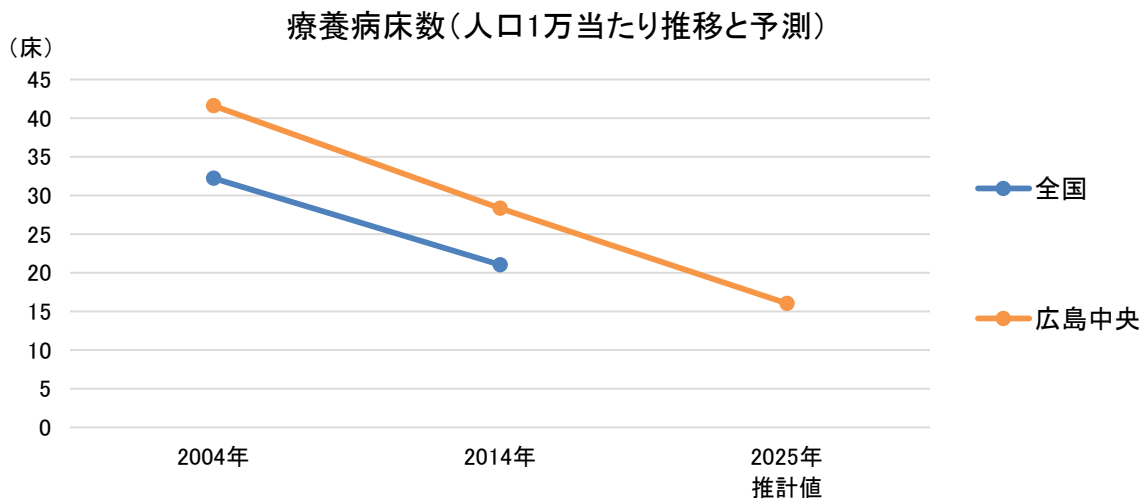
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1814床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に1819床(人口1万人当たり80(全国平均78)偏差値51)と、5床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1825床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



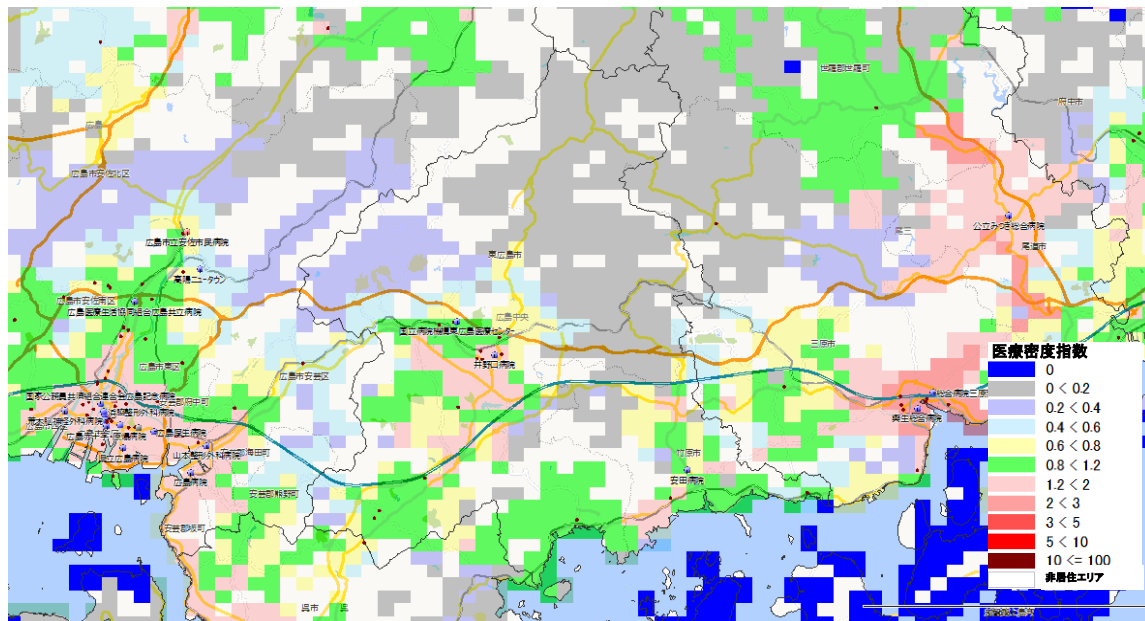
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が888床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に744床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、144床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には586床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



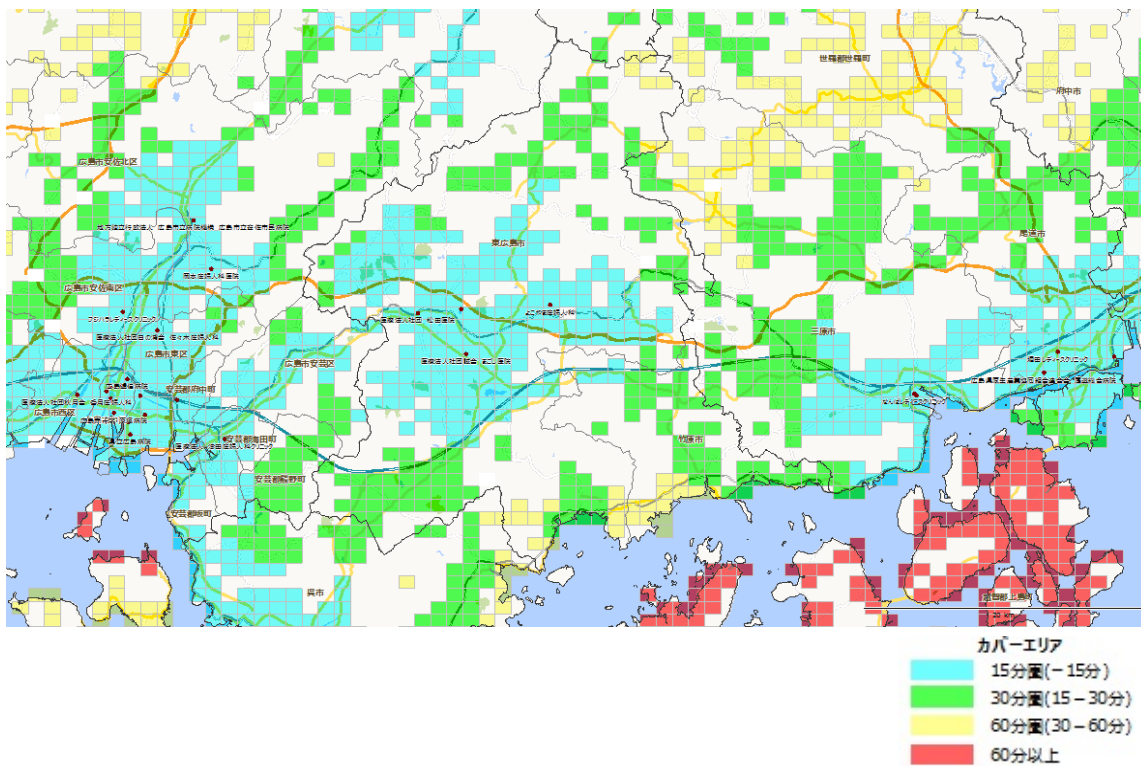
(広島中央医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

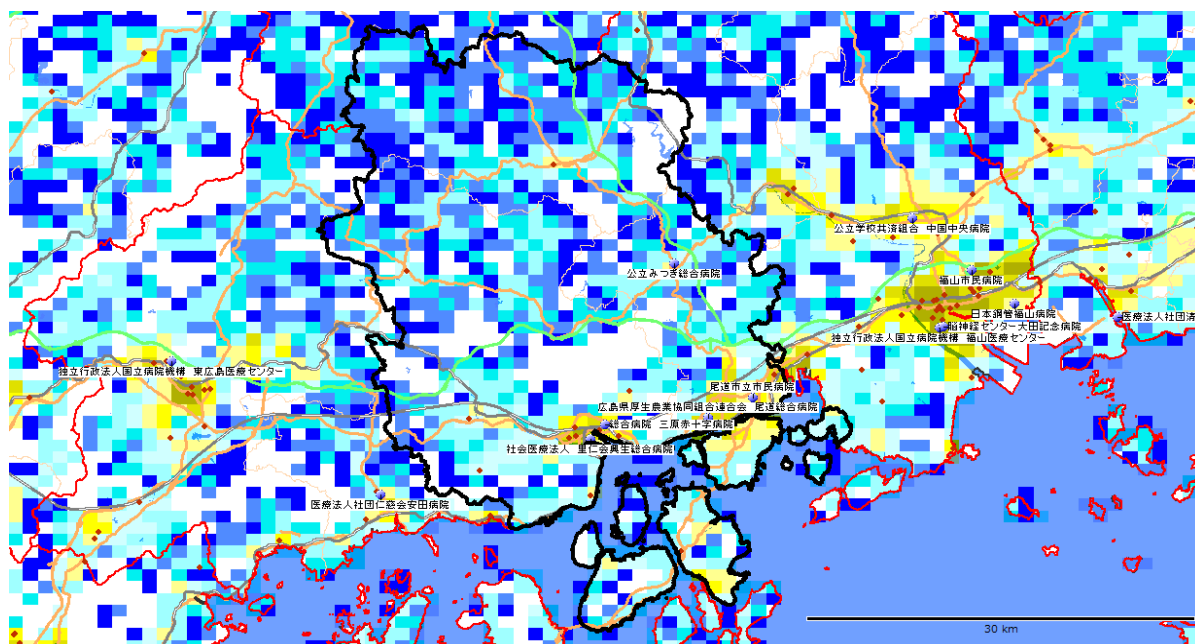
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



34-5. びさん 尾三医療圏

構成市区町村⁹ [三原市](#) [尾道市](#) [世羅町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(尾三医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 尾三(三原市)は、総人口約251千人(2015年)、面積1035km²、人口密度は243人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 尾三の総人口は2025年に226千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に186千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の44千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には46千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 尾三の一人当たり医療費(国保)は413千円(偏差値66)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 尾三の一人当たり急性期医療密度指数²は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.01で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。尾三には、年間全身麻酔件数が2000例以上の尾道総合病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の尾道市立市民病院(Ⅲ群)、500例以上の興生総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 尾三の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4736人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3031床(偏差値55)、高齢者住宅等が1705床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3972人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム44、軽費ホーム51、グループホーム48、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、425人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(尾三医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

尾三医療圏の総人口は、2005年273287人が、2015年に251157人と8%減少し、2025年の人口が226245人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

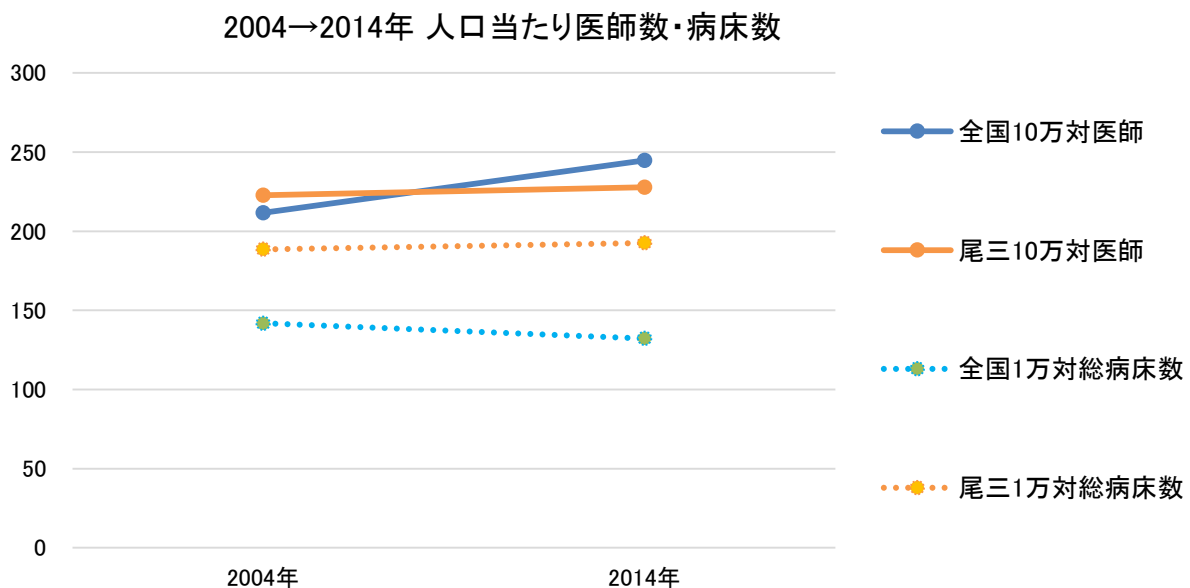
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が26(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に25(人口10万人当たり10病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が239(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に215(人口10万人当たり86診療所(全国平均79)偏差値54)と、24診療所が減少した。

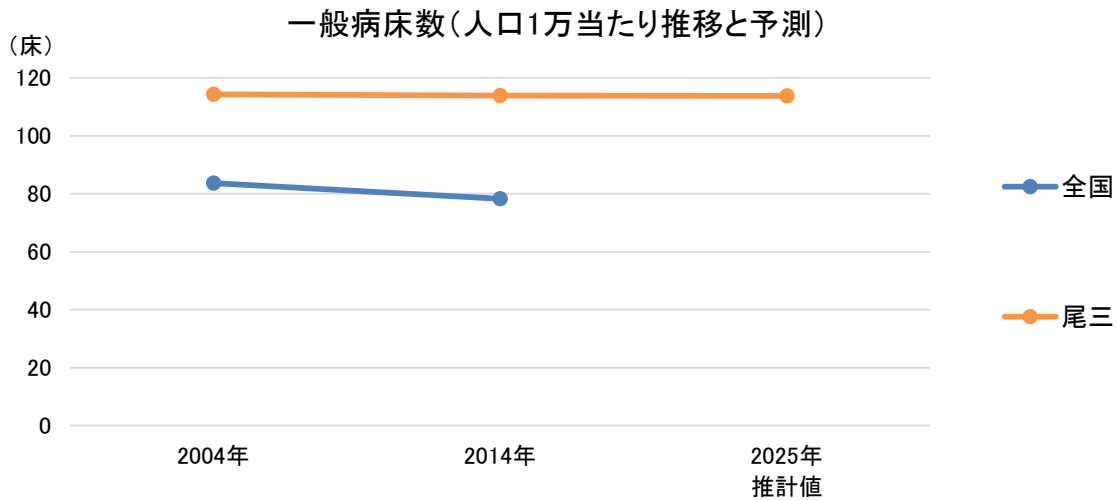
2004年の総病床数が5153床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に4838床(人口1万人当たり193(全国平均132)偏差値61)と、315床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が609人(人口10万人当たり223人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に572人(人口10万人当たり228人(全国平均245人)偏差値48)と、37人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



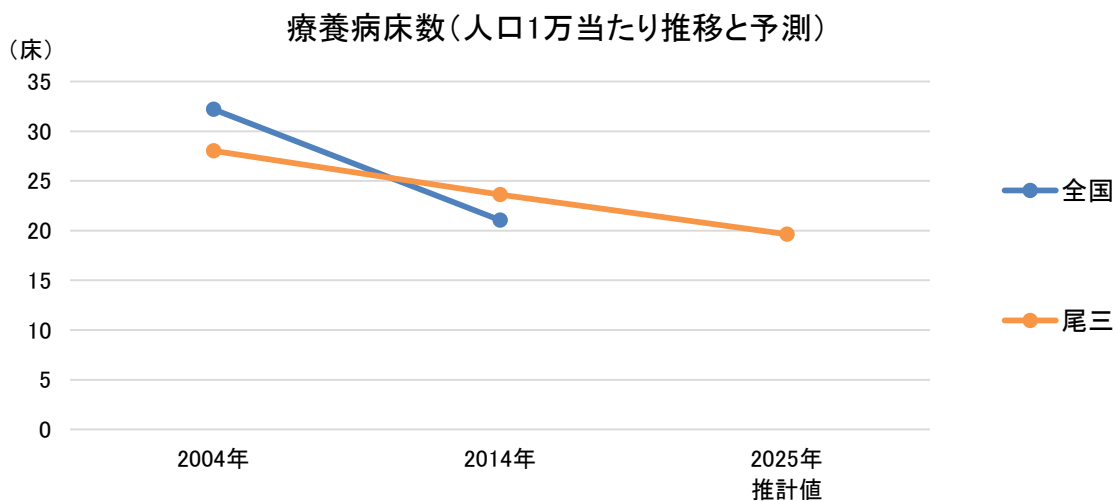
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3122床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に2860床(人口1万人当たり114(全国平均78)偏差値63)と、262床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2572床(2025年の推計人口1万人当たり114)になることが予想される。



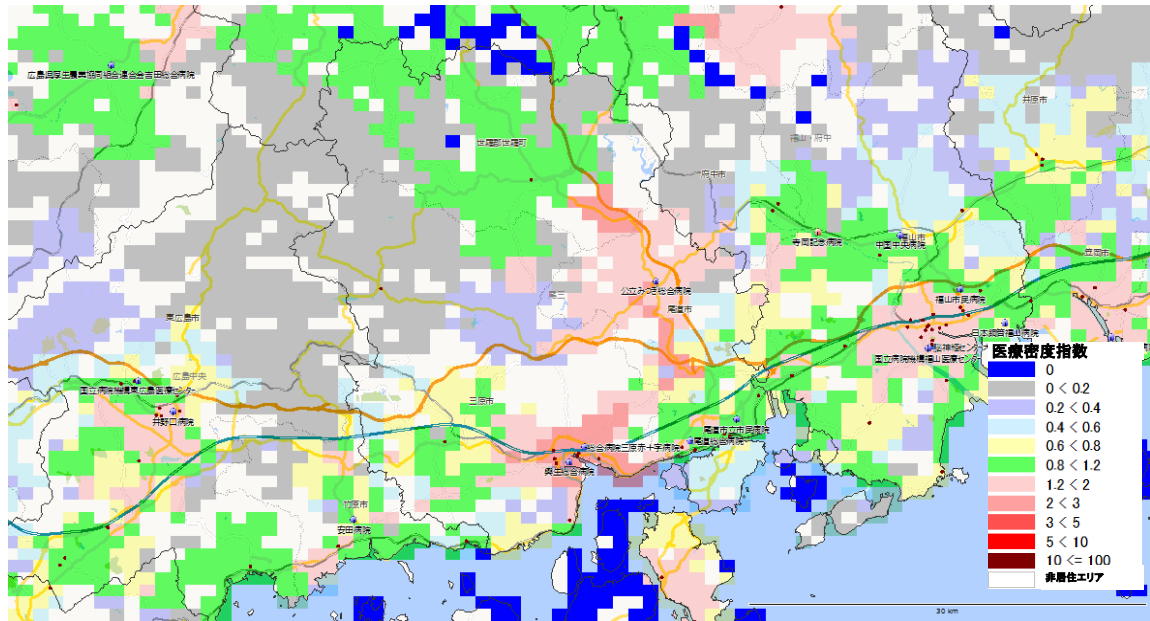
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1070床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1048床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値52)と、22床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1024床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



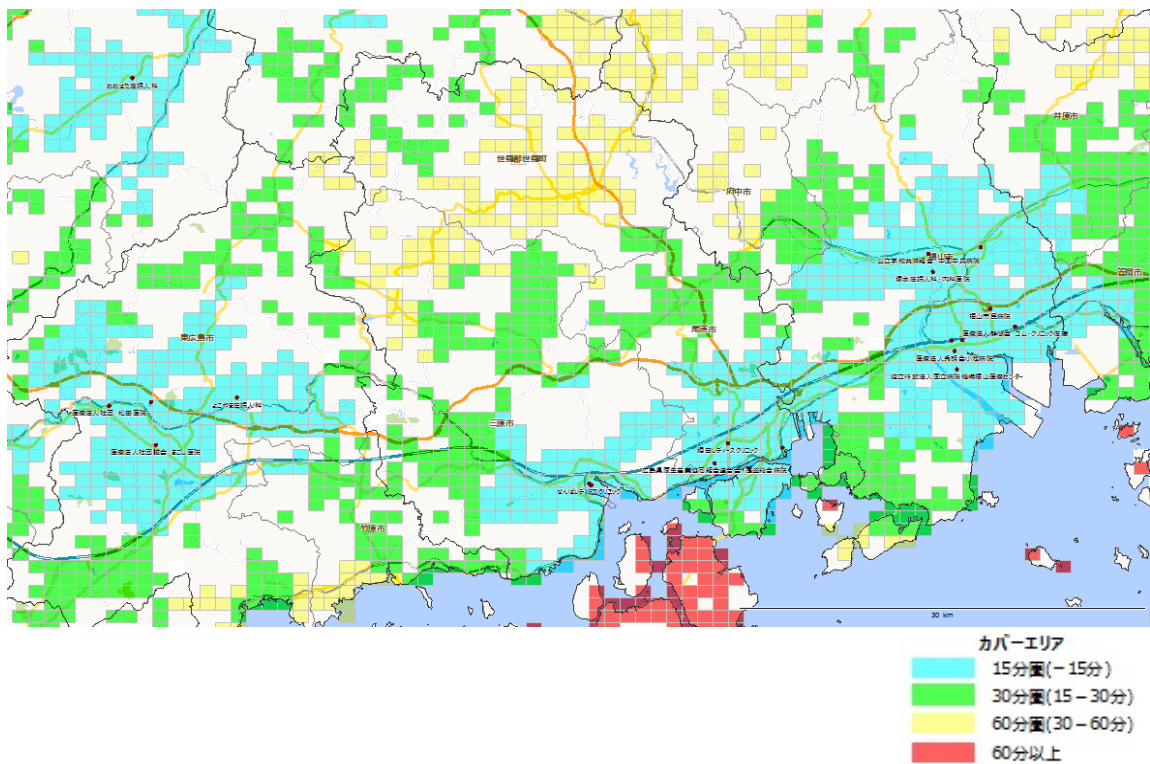
(尾三医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

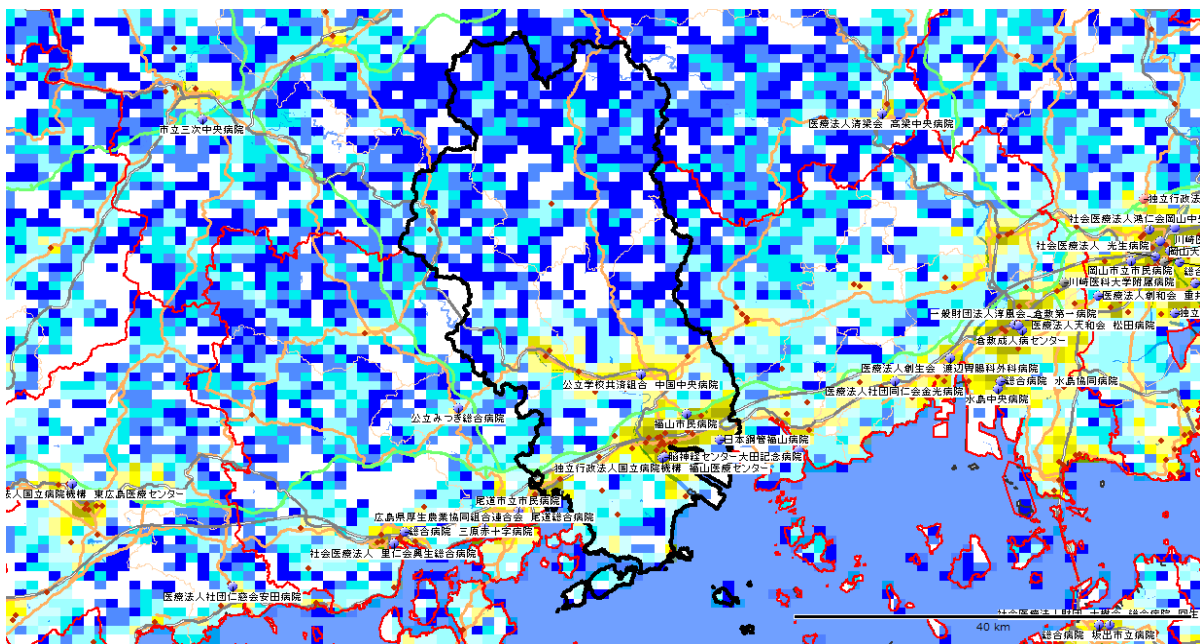
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



34-6. ふくやま ふちゅう 福山・府中医療圏

構成市区町村⁹ [福山市](#) [府中市](#) [神石高原町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(福山・府中医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 福山・府中(福山市)は、総人口約514千人(2015年)、面積1096km²、人口密度は469人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 福山・府中の総人口は2025年に480千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に422千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の68千人が、2025年にかけて94千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には93千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 福山・府中の一人当たり医療費(国保)は363千円(偏差値54)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 福山・府中の一人当たり急性期医療密度指数²は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.04で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。福山・府中には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構福山医療センター(Ⅲ群)、福山市民病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の脳神経センター大田記念病院(Ⅲ群)、日本鋼管福山病院(Ⅲ群)、中国中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 福山・府中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8004人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4103床(偏差値49)、高齢者住宅等が3901床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7482人(75歳以上1000人当たりの偏差値79)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム45、軽費ホーム50、グループホーム62、サ高住69である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、743人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(福山・府中医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

福山・府中医療圏の総人口は、2005年515865人が、2015年に514097人と1%未満減少し、2025年の人口が479994人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

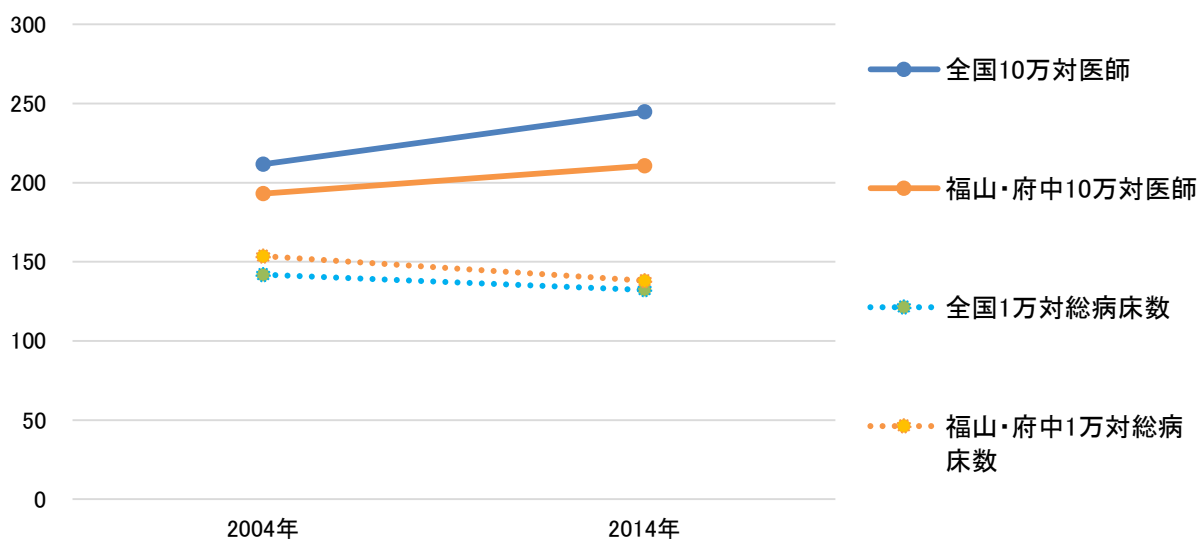
2004年の病院数が53(人口10万人当たり10.3病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に47(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が358(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に379(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、21診療所が増加した。

2004年の総病床数が7920床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に7097床(人口1万人当たり138(全国平均132)偏差値51)と、823床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

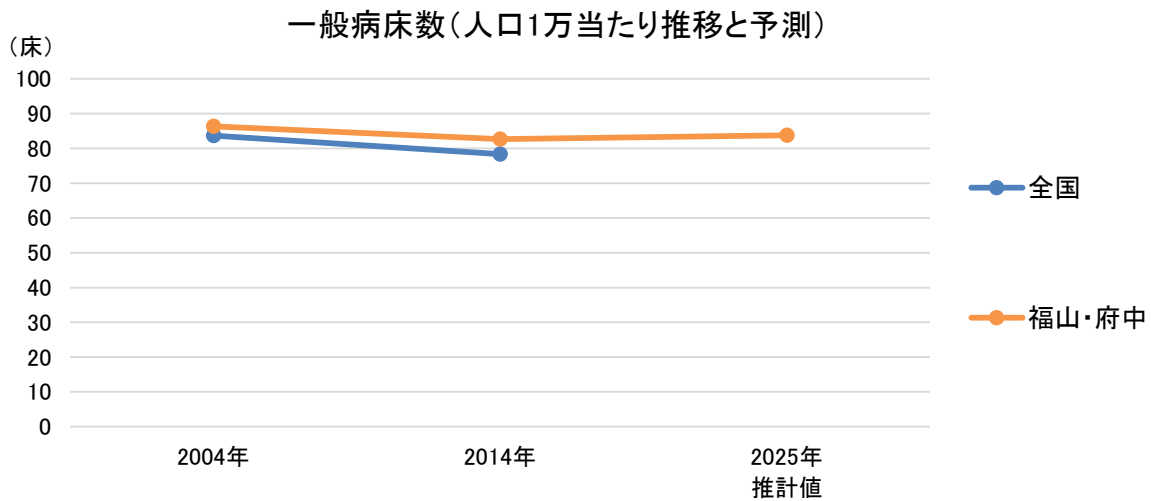
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が996人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に1083人(人口10万人当たり211人(全国平均245人)偏差値46)と、87人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



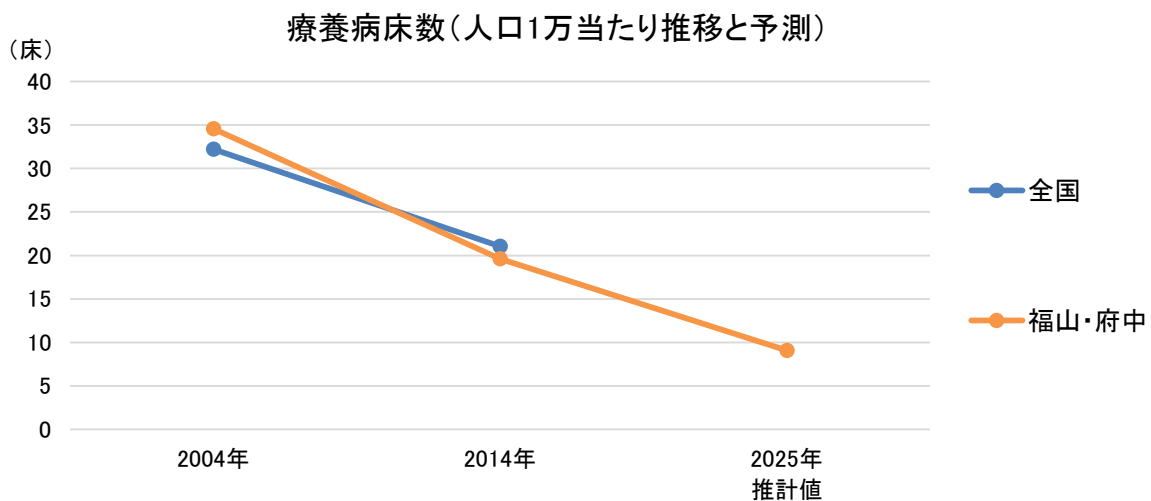
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4455床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に4248床(人口1万人当たり83(全国平均78)偏差値52)と、207床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4020床(2025年の推計人口1万人当たり84)になることが予想される。



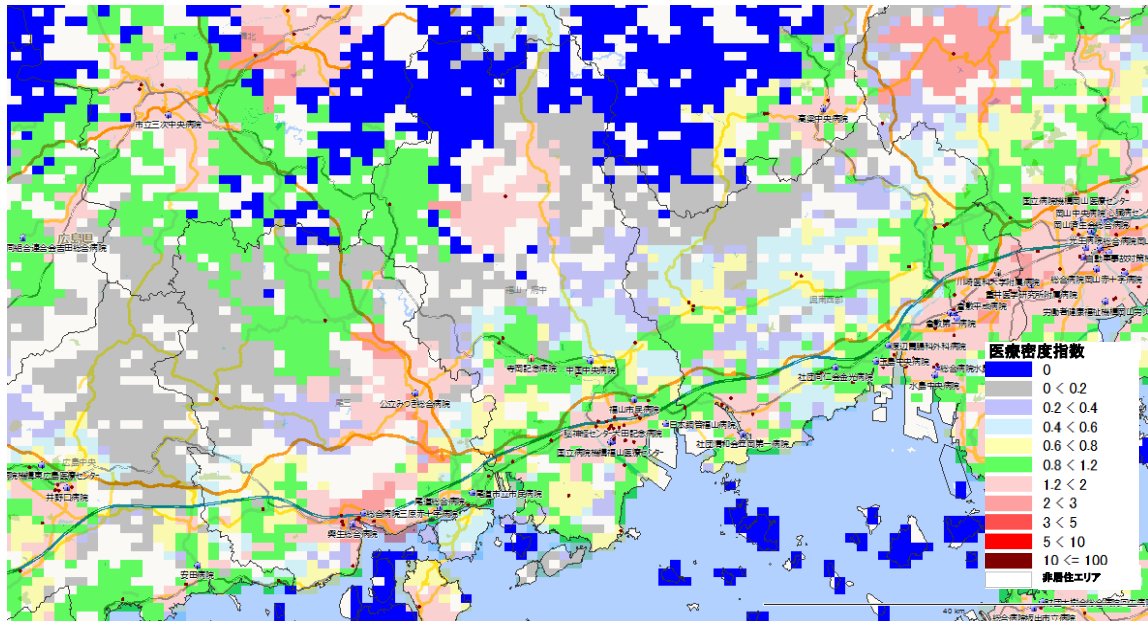
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1778床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に1339床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、439床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には856床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



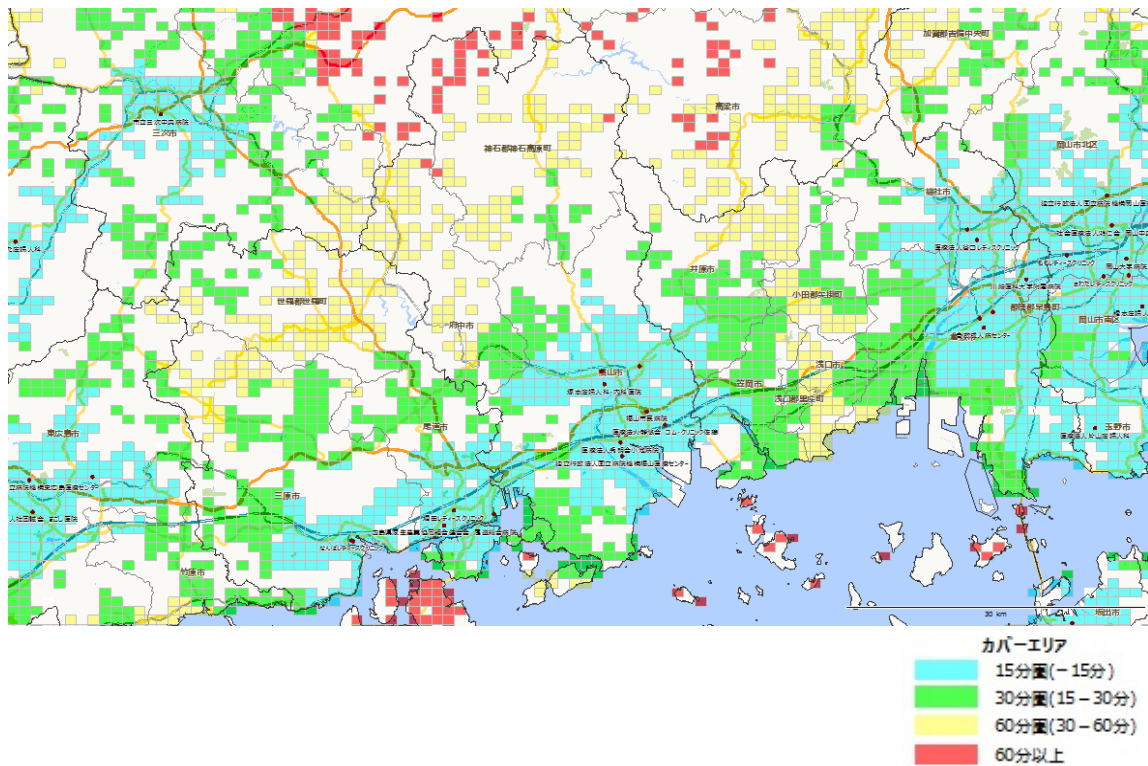
(福山・府中医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

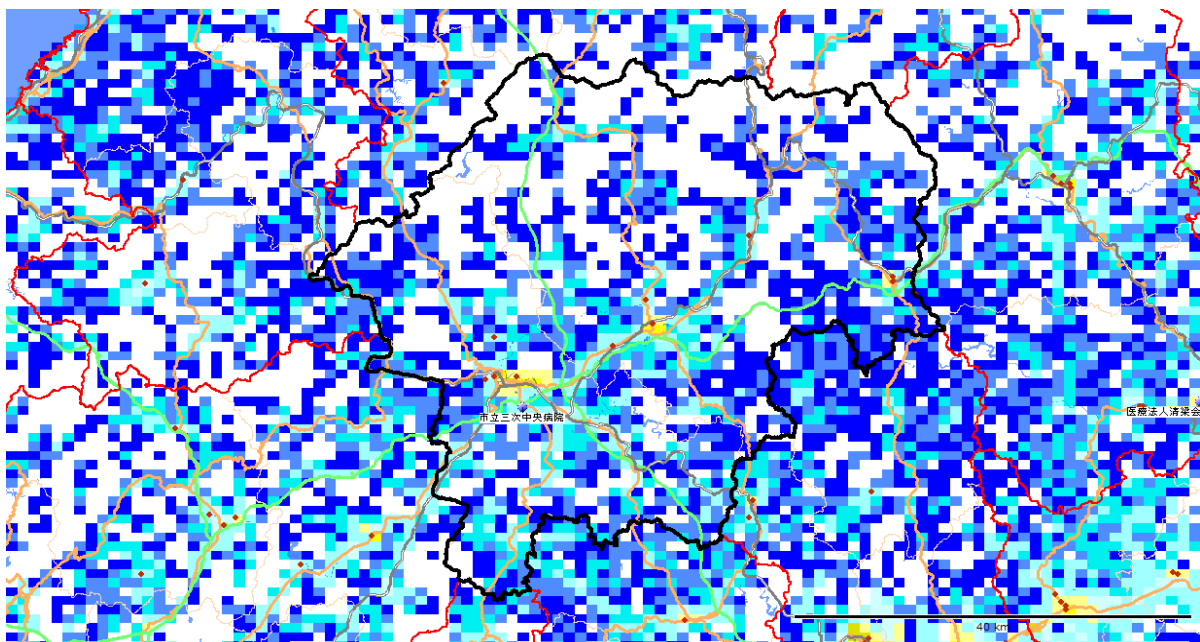
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



34-7. びほく 備北医療圏

構成市区町村⁹ [三次市](#) [庄原市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(備北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 備北(三次市)は、総人口約91千人(2015年)、面積2025km²、人口密度は45人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 備北の総人口は2025年に80千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に65千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 備北の一人当たり医療費(国保)は428千円(偏差値69)、介護給付費は350千円(偏差値78)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 備北の一人当たり急性期医療密度指数2は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.59で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が51(病院医師数51、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。備北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立三次中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は77と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 備北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2118人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1511床(偏差値62)、高齢者住宅等が607床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2131人(75歳以上1000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム41、軽費ホーム65、グループホーム50、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、163人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(備北医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

備北医療圏の総人口は、2005年102463人が、2015年に90615人と12%減少し、2025年の人口が80126人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

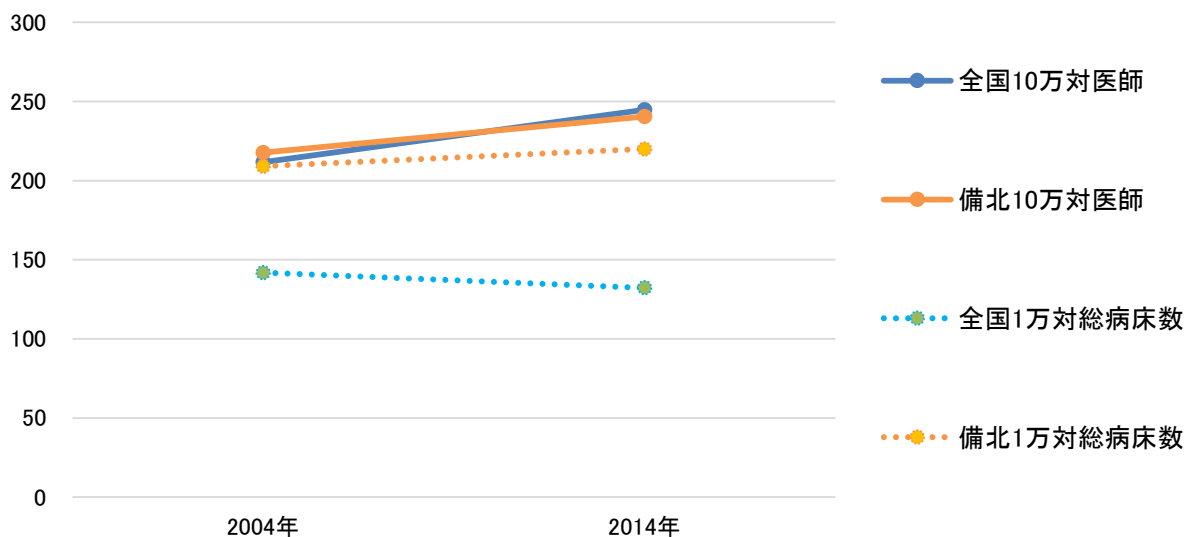
2004年の病院数が10(人口10万人当たり9.8病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に11(人口10万人当たり12.1病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が98(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に96(人口10万人当たり106診療所(全国平均79)偏差値64)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が2142床(人口1万人当たり209(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に1993床(人口1万人当たり220(全国平均132)偏差値66)と、149床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

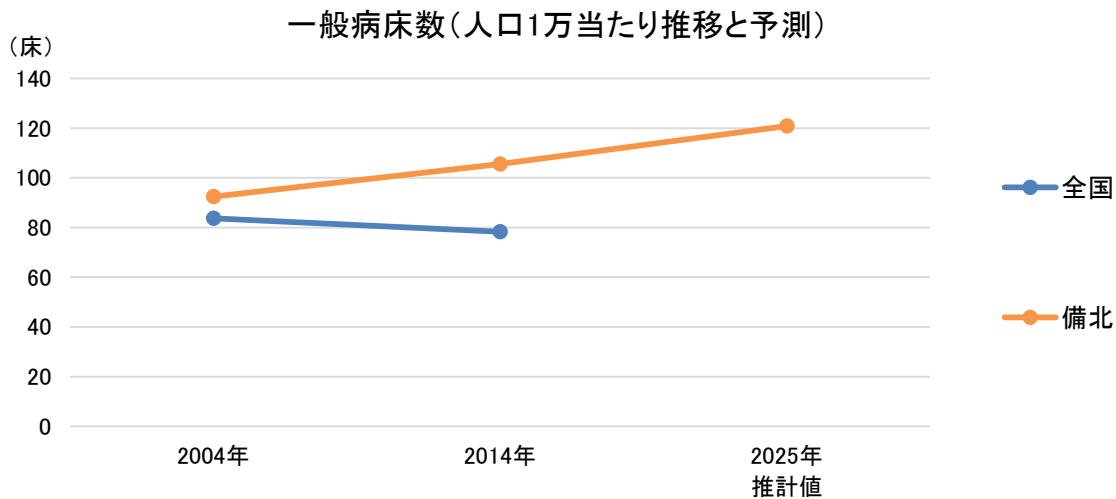
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が223人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に218人(人口10万人当たり241人(全国平均245人)偏差値50)と、5人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



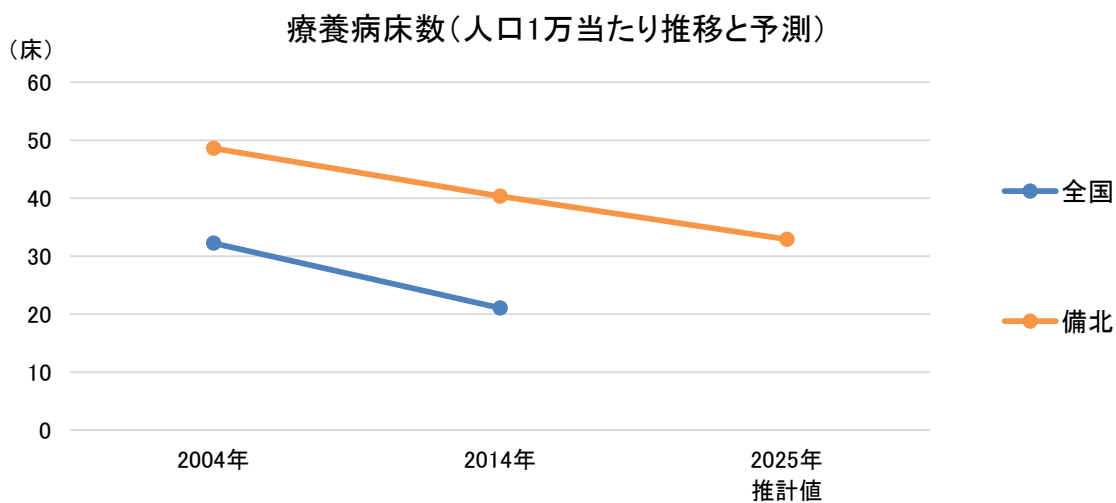
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が947床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に957床(人口1万人当たり106(全国平均78)偏差値60)と、10床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には968床(2025年の推計人口1万人当たり121)になることが予想される。



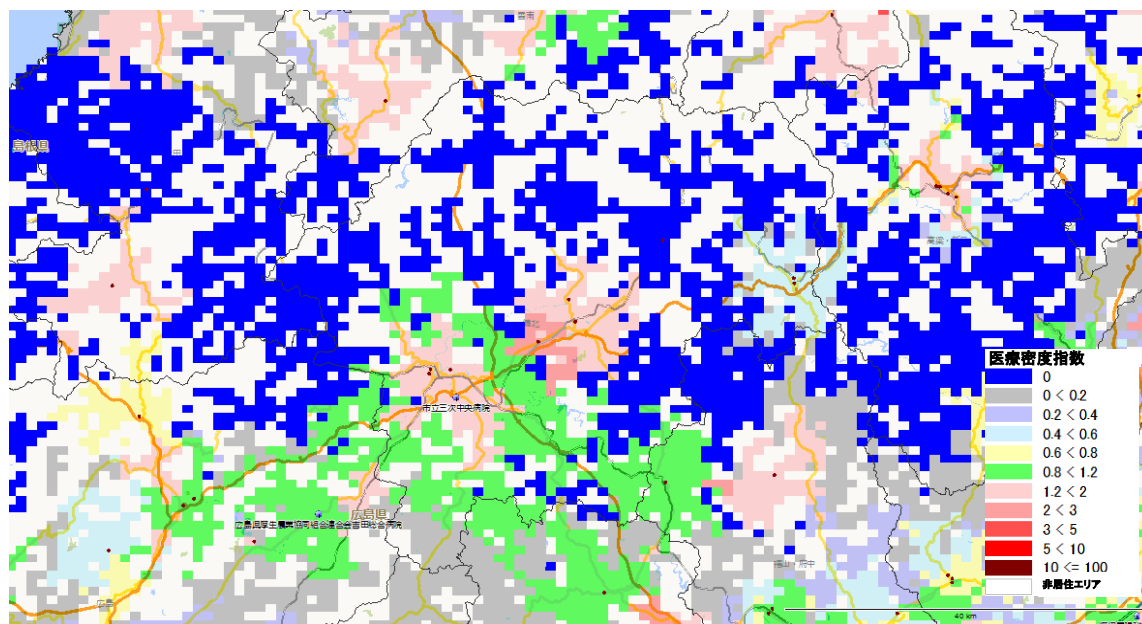
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が910床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に801床(75歳以上1000人当たり40(全国平均21)偏差値66)と、109床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には681床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。



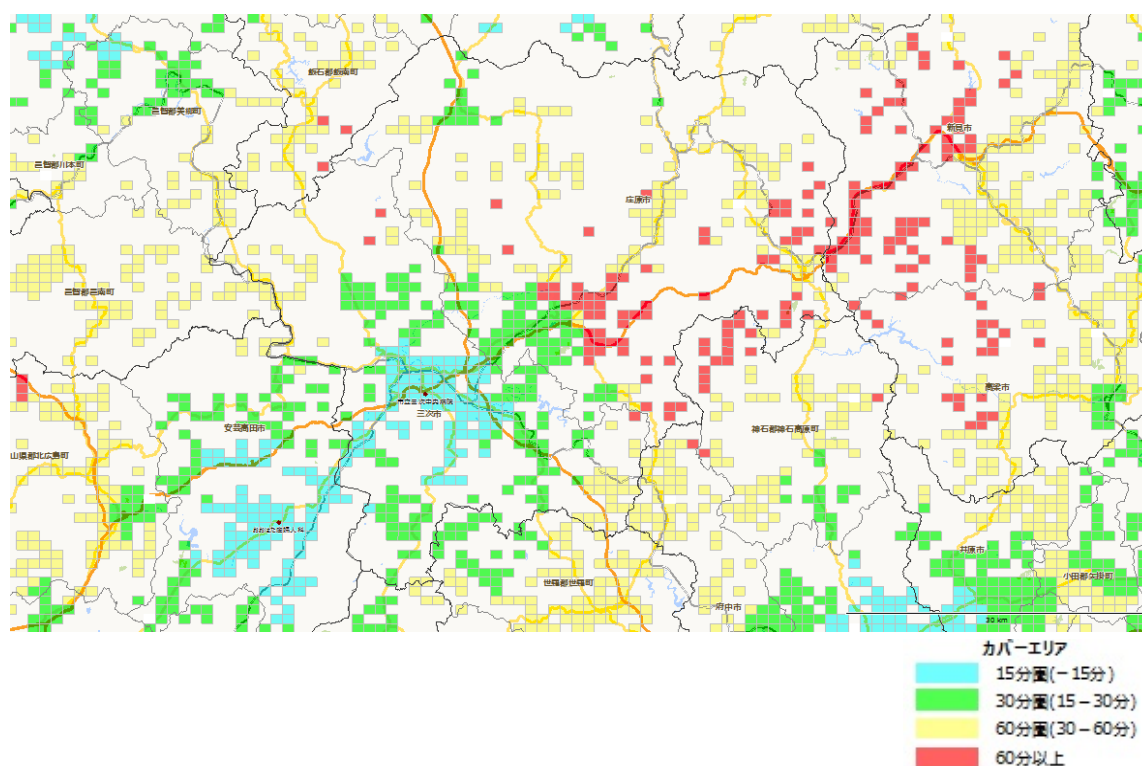
(備北医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表34-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。